

平成29年度 第3回

社会教育委員の会議

○日 時 平成30年 3月12日 (月)
午後2時00分～

○会 場 宇都宮市役所 14A会議室

宇都宮市教育委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 報告事項

- ① 平成29年度 放課後子ども教室の実施状況について 【資料1】
- ② 平成29年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について 【資料2】
- ③ 平成29年度 家庭教育支援事業の実施状況について 【資料3】
- ④ 平成29年度 宇都宮市民大学の実施状況について 【資料4】
- ⑤ 平成29年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について 【資料5】
- ⑥ 平成30年度 宇都宮市成人式の実施状況について 【資料6】
- ⑦ 「宇都宮市歴史文化基本構想」について 【資料7】

(2) 協議事項

- ① 「第3次宇都宮市地域教育推進計画」について 【資料8】
- ② 「第2次宇都宮市読書活動推進計画」について 【資料9】
- ③ 平成30年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について 【資料10】
- ④ 平成30年度 文化行政の基本方針及び重点施策について 【資料11】
- ⑤ 平成30年度 社会教育関係団体に対する補助について 【資料12】

(3) その他

- ① 平成30年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日について 【資料13】

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市社会教育委員名簿

任期：平成29年7月1日～平成31年6月30日

区分	No.	氏名	役職名等	備考
学校教育 関係者	1	おおかわ なおくに 大川 直邦	栃木県立宇都宮南高等学校長（栃木県高等学校長会宇都宮支部）	
	2	はつがい けんいち 初谷 憲一	城山中学校長（宇都宮市中学校長会）	
	3	ふなやま みつたか 船山 光隆	西原小学校長（宇都宮市小学校長会）	
	4	いまい まきのり 今井 政範	宇都宮地区幼稚園連合会会長（宇都宮地区幼稚園連合会）	
社会教育 関係者	5	きん かつひこ 金 克彦	公益社団法人宇都宮青年会議所理事長	
	6	くしぶち すみえ 榎渕 澄江	宇都宮市地域婦人会連絡協議会会長	
	7	みむら しゅうじ 三村 松司	宇都宮市体育協会副会長	
	8	まつもと こうげん 松本 弘元	宇都宮市文化協会常任理事	
	9	やまぐち やすお 山口 康夫	宇都宮市子ども会連合会会長	
	10	ふくだ はるひさ 福田 治久	宇都宮市PTA連合会会長	
	11	たかはし つとむ 高橋 勉	宇都宮市地域まちづくり推進協議会副会長	
	12	せきぐち ひろし 関口 浩	宇都宮市青少年指導員会会長	
	13	かとう ふみこ 加藤 史子	一条中学校魅力ある学校づくり地域協議会地域コーディネーター	
家庭教育 関係者	14	こいけ みさこ 小池 操子	宇都宮市親学習プログラム指導者	
学識 経験者	15	かわた たかし 河田 隆	宇都宮共和大学教授	
	16	ささき かずたか 佐々木 一隆	宇都宮大学教授	
	17	わかざの ゆうしろう 若園 雄志郎	宇都宮大学准教授	
	18	ますぶち ゆきお 増渕 幸男	上智大学名誉教授	
	19	むらた まさひこ 村田 雅彦	市議会議員	
	20	こだいら みちお 小平 美智雄	市議会議員	

平成 29 年度 放課後子ども教室事業の実施状況について

1 趣旨

国の「放課後子ども総合プラン」の宇都宮版として19年度から実施している「放課後子ども教室」事業の実施状況について報告するもの

2 平成 29 年度の実施状況

(1) 実施校区数 52 小学校区

宮っ子ステーション実施校区（年度の新規実施校区数）(H30.3.1 現在)

19年度～	陽南小・陽光小（2）
20年度～	晃宝小（1）
21年度～	今泉小・富士見小・西小・御幸が原小・峰小・清原南小（6）
22年度～	東小・清原東小・陽東小・城東小・西が岡小・富屋小・上戸祭小・岡本西小（8）
23年度～	田原西小・西原小・五代小・石井小・岡本北小・明保小・平石中央小・田原小・上河内東小・雀宮中央小・豊郷南小・宝木小（12）
24年度～	新田小・豊郷北小・豊郷中央小・白沢小・横川東小・横川中央小・篠井小・御幸小・雀宮東小・姿川中央小・雀宮南小・桜小・国本中央小・横川西小（14）
25年度～	城山東・瑞穂台・緑が丘・中央（4）
26年度～	上河内中央・宮の原・海道（3）
28年度～	築瀬・岡本（2）

(2) 各小学校区の実施状況（別紙参照）

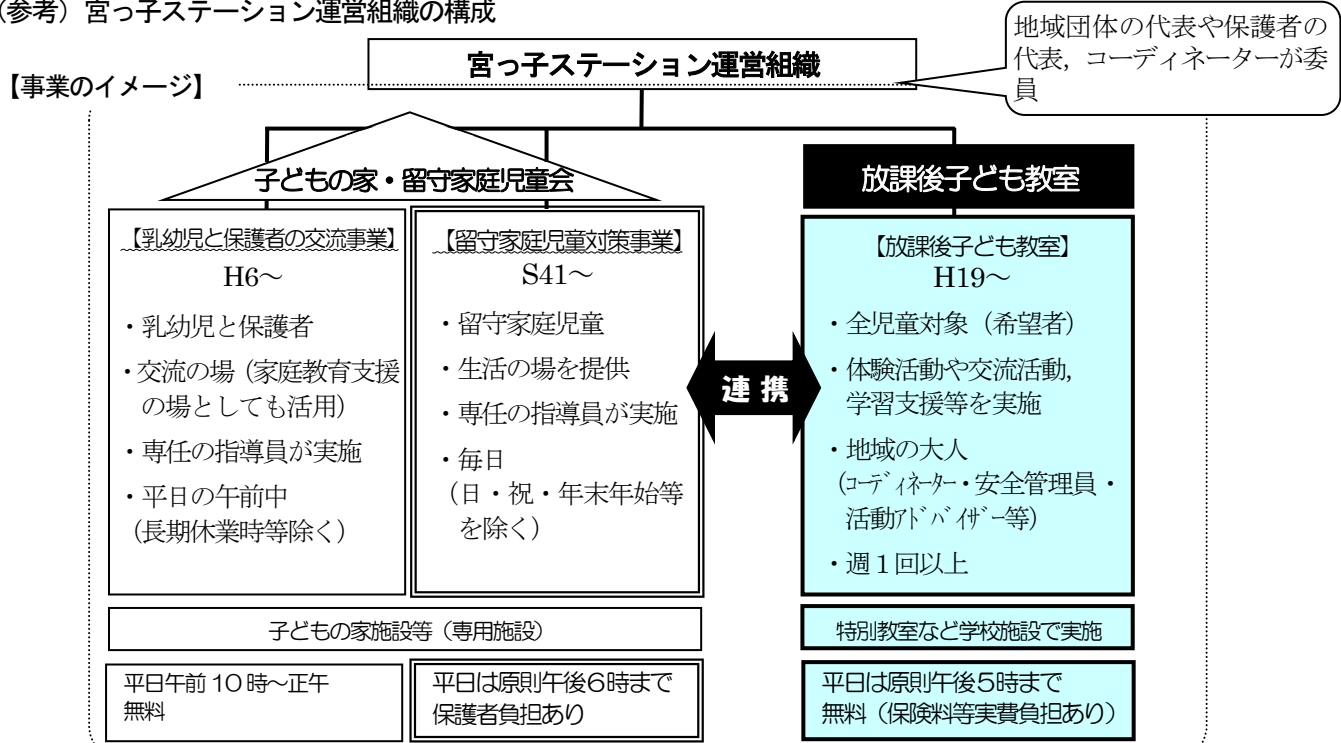
(3) 事業実施における成果

- 活動への参加を通して、児童の放課後の過ごし方が充実できた。
- 異年齢の児童や大人との関わりを通して、児童が社会性や生活習慣を習得することができた。
- 宿題や自主学习などの活動を通して、児童の学習習慣の定着を図ることができた。
- 地域の大人や大学生・中高生の参加・協力・交流を通して、地域コミュニティの活性化と地域ぐるみでの子育て意識の醸成を図ることができた。 など

(4) 課題等

- 活動に参加・協力してもらえる人材の確保（コーディネーター、活動アドバイザー、安全管理員など）
- 全小学校区での早期立ち上げに向けた地域の理解と協力（未実施校区＝14校区）
- 事業内容の充実（活動メニューの多様化、実施回数の増加 など）

(参考) 宮っ子ステーション運営組織の構成



※運営組織は地域の代表10名以上、保護者の代表5名以上で構成

平成29年度「放課後子ども教室」実施状況（H30年3月1日現在）

実施校区		陽南小	陽光小	晃宝小	今泉小	富士見小	
名称	正式名称	陽南宮っ子ステーション	陽光宮っ子ステーション	晃宝宮っ子ステーション	今泉宮っ子ステーション	富士見宮っ子ステーション	
	愛称	よ〜なん☆きっずべーす	おひさまクラブ	ピノキオ教室	今泉わくわくステーション	—	
開始時期		平成19年7月	平成19年10月	平成20年6月	平成21年6月	平成21年7月	
主な活動拠点		・大会議室・児童会室 ・体育館・校庭 ・音楽室 ・家庭科室	・ランチルーム・第2音楽室 ・校庭・体育館 ・家庭科室 ・プール ・図工室	・多目的室 ・農園 ・校庭・体育館	・体育館 ・校庭	・体育館 ・校庭	
		・陽南地域コミセン ・南生涯センター	・県総合グランド飛び込み用プール	・国本地区市民センター	・今泉地域コミセン	・富士見地域コミセン	
主な内容		・ものづくりや生活体験 ・百人一首 ・お茶教室 ・バトミントン、サッカーほかスポーツ	・ものづくり、手芸教室 ・生活体験 ・バレーボール、野球、サッカー、グラウンドゴルフ、タグラグビー、バスケットボール、剣道 ・フラダンスほかダンス ・手話 ・将棋 ・英語教室	・昔遊び ・グラウンドゴルフ ・ものづくりや生活体験 ・書写 ・パステル画 ・町探検 ・ドッチビー ※事業開始前に宿題タイムあり	・ものづくりや生活体験 ・英会話 ・面白実験 ・グラウンドゴルフ ・おやつ作り ※宿題タイムあり	・ドッジボール、ユニホック、ネオホッケー ・ものづくりや生活体験 ・将棋 ・民話語り ・百人一首 ※終了後に各自宿題を行う	
		地域まちづくり組織を中心に各種団体	魅力ある学校づくり地域協議会の部会	魅力ある学校づくり地域協議会の部会	地域まちづくり組織を中心に各種団体	魅力ある学校づくり地域協議会（地域まちづくり協議会含む）を中心に各種団体	
コーディネーター		安全管理員	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター	PTA関係者	
児童数		登録数	58	221	174	231	80
		全校数	481	341	414	637	730
		利用率	12%	65%	42%	36%	11%
		1年生	15	43	41	65	19
		2年生	21	57	47	62	21
		3年生	13	44	38	62	17
		4年生	4	39	30	26	11
5年生	3	21	13	13	9		
6年生	2	17	5	3	3		
週あたり実施回数		1回 (月曜日または金曜日)	5回 (月～金曜日)	3回 (月水金曜日)	3～4回 (主に月・水・金・土曜日)	1回 (主に金曜日)	

実施校区		西小	御幸が原小	峰小	清原南小	東小	
名称	正式名称	西宮っ子ステーション	御幸が原宮っ子ステーション	峰宮っ子ステーション	清原南宮っ子ステーション	東宮っ子ステーション	
	愛称	にじいろ教室	キラキラ	峰の寺子屋	清原げんきっず	とうこうキッズクラブ	
開始時期		平成21年7月	平成21年10月	平成22年1月	平成22年1月	平成22年4月	
主な活動拠点		・体育館・校庭 ・音楽室 ・にこにこ館 ・ランチルーム	・学習室 ・図工室 ・第二音楽室 ・校庭	・図書室 ・校庭 ・体育館	・音楽室・生活科室 ・家庭科室・理科室 ・校庭・体育館 ・ランチルーム・多目的室	・校庭 ・体育館 ・プール	
				・峰地区コミセン		・東地域コミセン	
主な内容		・ネオホッケー、ニュースポーツ ・琴教室 ・パソコン教室 ・デコ工作 ・生け花教室 ・ペーゴマ遊び ・料理教室 ※中高生ボランティアの支援あり	・工作教室 ・楽しい工作 ・布ぞうり作り ・ダンス教室 ・絵手紙 ・昔遊び	・自学自習 ・工作教室 ・スポーツ教室 ・そろばん教室 ・自然体験 （田んぼへ行こう等） ・理科実験、生活体験 ・おこと教室 ※前半は宿題タイム	・生活体験 ・工作教室 ・昔遊び ・読書 ・清原ミュージックフェスティバル参加 ・お泊り会 ・敬老会で演奏 ※前半は宿題タイム	・生活体験 ・工作教室 ・昔遊び ・マジック教室 ・スポーツデリバリー ・お茶 ・水泳	
		PTA関係者を中心に各種団体	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体	
コーディネーター		PTA関係者	魅力ある学校づくり地域協議会 運営委員	魅力ある学校づくり地域協議会会長	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター		
児童数		登録数	119	201	238	191	96
		全校数	184	522	476	412	223
		利用率	65%	39%	50%	46%	43%
		1年生	28	20	50	0	21
		2年生	31	42	64	55	17
		3年生	15	53	46	39	21
		4年生	18	37	34	46	16
5年生	18	31	27	32	16		
6年生	9	18	17	19	5		
週あたり実施回数		2回 (主に月・火・木・金曜日)	2回 (主に月・水曜日)	4回 (主に月・水・金・土曜日)	5回 (主に月～金曜日)	2回 (主に水・金曜日)	

平成29年度「放課後子ども教室」実施状況（H30年3月1日現在）

実施校区	清原東小			城東小			陽東小			西が岡小			上戸祭小			
名称	正式名称	清原東宮つ子ステーション			城東宮つ子ステーション			陽東宮つ子ステーション			西が岡宮つ子ステーション			上戸祭宮つ子ステーション		
	愛称	—			—			ポパイ			—			上戸のたまご		
開始時期	平成22年6月			平成22年7月			平成22年7月			平成22年9月			平成22年9月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室 ・校庭 ・図書室 			<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室 ・図工室 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育館ミーティングルーム ・校庭 ・体育館 ・家庭科室 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放室 ・校庭・体育館 ・農園・音楽室 ・家庭科室 			<ul style="list-style-type: none"> ・大ミーティングルーム ・校庭・体育館 ・家庭科室・図工室 ・調理室 北生涯学習センター 			
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題などの学習 ・外遊び ・工作教室 ・ダンス教室 ※学習支援			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・学習支援 ※学習支援を実施（主に水曜日）			<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験 ・工作教室 ・昔遊び ・ユニホック、ペタンク、ドッチビー ・お菓子づくり ・百人一首、指編み ・マネー教室 ・キッズダンス ※活動前に学習タイムあり			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・昔遊び ・手芸 ・染色 ・スポーツ ・調理教室 ・農業(野菜づくり)体験 ・ハイキング ・チャレンジランキング 			工作教室、料理教室、英語教室、フラダンス、和太鼓、ダンス、囲碁。百人一首、茶道、ネオホッケー、ソフトバレーボール、フットサル、ロボット教室		
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター				元PTA役員			事業コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			元魅力ある学校づくり地域協議会地域コーディネーター			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	36	388	9%	124	428	29%	221	546	40%	125	349	36%	211	464	45%	
	1年生	8	44	18%	20	74	27%	40	72	56%	44	61	72%	37	67	55%
	2年生	10	76	13%	32	71	45%	59	75	79%	29	45	64%	66	83	80%
	3年生	10	63	16%	28	75	37%	45	89	51%	28	71	39%	38	69	55%
	4年生	5	73	7%	21	63	33%	42	91	46%	20	50	40%	36	83	43%
	5年生	2	66	3%	17	81	21%	28	112	25%	4	57	7%	21	88	24%
	6年生	1	66	2%	6	64	9%	7	107	7%	0	65	0%	13	74	18%
週あたり実施回数	1回 (月曜日)			2回 (主に月・水曜日)			2回 (主に水・金曜日)			2回 (主に水・金曜日)			5～6回 (主に日・月・火・水・金・土曜日)			

実施校区	富屋小			岡本西小			田原西小			西原小			石井小			
名称	正式名称	富屋宮つ子ステーション			岡本西宮つ子ステーション			田原西宮つ子ステーション			西原宮つ子ステーション			石井宮つ子ステーション		
	愛称	にこにこ教室			おかにしみやっこ			田西つ子クラブ			西原こどもくらぶ			あおぞらペンギンクラブ		
開始時期	平成22年9月			平成22年9月			平成23年4月			平成23年5月			平成23年5月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館ミーティングルーム ・体育館 ・農園 			<ul style="list-style-type: none"> ・図工室・家庭科室 ・体育館・校庭 ・菜園 ・ゆうすい講演 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育館 ・ミーティングルーム ・ランチルーム 			<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルーム ・体育館 ・校庭 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・校庭 ・学習室・家庭科室 ・ランチルーム ・プール 			
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験 ・サッカー等のスポーツ ・昔遊び ・料理教室 ・工作教室 			<ul style="list-style-type: none"> ・菜園 ・ドッチボール、バドミントン、バレーボール、卓球 ・生活体験 ・料理教室 ・工作教室 			<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験 ・昔遊び ・スポーツ体験 ・料理教室 			<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験 ・工作教室 ・昔遊び ・スポーツ体験 ・お菓子づくり ・自由あそび ※前半は宿題タイム			<ul style="list-style-type: none"> ・群れ遊び ・生活体験 ・ペタンク ・自然体験 ・親子活動 		
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター				魅力ある学校づくり 地域協議会役員			魅力ある学校づくり 地域協議会の委員									
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	115	238	48%	128	519	25%	88	277	32%	122	303	40%	145	687	21%	
	1年生	21	25	84%	0	102	0%	23	36	64%	46	62	74%	30	107	28%
	2年生	21	36	58%	0	82	0%	23	41	56%	27	43	63%	33	114	29%
	3年生	24	44	55%	44	83	53%	18	39	46%	28	44	64%	45	114	39%
	4年生	21	48	44%	34	76	45%	13	43	30%	13	51	25%	25	118	21%
	5年生	18	41	44%	32	87	37%	7	55	13%	5	51	10%	8	111	7%
	6年生	10	44	23%	18	89	20%	4	63	6%	3	52	6%	4	123	3%
週あたり実施回数	2回 (主に月・水曜日)			1回 (主に月曜日)			1回 (主に水曜日)			1回 (主に水曜日)			1			

平成29年度「放課後子ども教室」実施状況（H30年3月1日現在）

実施校区		明保小	五代小	田原小	岡本北小	平石中央											
名称	正式名称	明保宮っ子ステーション	五代宮っ子ステーション	田原宮っ子ステーション	岡本北宮っ子ステーション	平石中央宮っ子ステーション											
	愛称	—	たのしみクラブ	くれよんきっず	北っ子教室	りんごの木											
開始時期		平成23年6月	平成23年5月	平成23年7月	平成23年6月	平成23年7月											
主な活動拠点		・地域開放室 ・体育館 ・校庭 ・中庭	・第2音楽室 ・体育館 ・校庭 ・図工室	・児童会室・家庭科室 ・音楽室・多目的ルーム ・体育館・プール ・図工室・中庭	・多目的教室 ・体育館・校庭 ・図工室・理科室 ・音楽室・家庭科室	・ほほえみコーナー ・家庭科室											
主な内容		・自然体験 ・スポーツ ・集団遊び ・工作教室 ・日本文化体験	・工作教室 ・生活体験 ・スポーツ体験 ・英会話 ・将棋	・昔遊び ・自然体験 ・音楽教室 ・スポーツ ・漢字検定 ・手工芸	・昔遊び ・自然体験 ・スポーツ ・理科教室 ・音楽教室 ・工作教室 ・英語皇室	・工作教室 ・読み聞かせ ・スポーツ(ドッチビー・なわとび) ・オセロ・トランプ・将棋											
事業立ち上げ		魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体											
コーディネーター		魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター	元子どもの家指導員	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター	魅力ある学校づくり地域協議会役員	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター											
児童数		登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
		212	557	38%	158	722	22%	117	225	52%	145	365	40%	38	69	55%	
		1年生	39	94	41%	42	121	35%	27	36	75%	25	62	40%	6	10	60%
		2年生	56	98	57%	44	112	39%	19	29	66%	35	53	66%	12	13	92%
		3年生	44	92	48%	40	106	38%	25	38	66%	35	60	58%	8	11	73%
		4年生	35	85	41%	20	128	16%	17	36	47%	24	52	46%	7	14	50%
		5年生	24	88	27%	12	120	10%	16	43	37%	18	78	23%	3	12	25%
6年生	14	100	14%	0	135	0%	13	43	30%	8	60	13%	2	9	22%		
週あたり実施回数		週あたり1～2回	2回 (月・水・金曜日)	3回 (主に火・水・木曜日)	1回 (主に月曜日)	1回 (金曜日)											

実施校区		上河内東小	雀宮中央小	豊郷南小	宝木小	新田小											
名称	正式名称	上河内東宮っ子ステーション	雀宮中央宮っ子ステーション	豊郷南宮っ子ステーション	宝木宮っ子ステーション	新田宮っ子ステーション											
	愛称	ゆずっこ55	ひまわり	とよなんクラブ	—	しんでんキッズ											
開始時期		平成23年7月	平成23年9月	平成23年10月	平成23年12月	平成24年5月											
主な活動拠点		・体育館・校庭 ・体育館ミーティングルーム ・家庭科室・パソコン室 ・礼法室・生活科室 ・上河内生涯学習センター	・学習室 ・校庭・体育館 ・家庭科室・プール	・生活科室(放課後子ども教室) ・校庭・音楽室 ・家庭科室・理科室 ・図工室・プール	・第2図書室	・体育館・校庭 ・理科室・家庭科室 ・プール・図書室 ・音楽室・図工室 ・第二音楽室											
主な内容		・群れ遊び ・語りべ ・パソコン教室 ・お茶教室 ・料理教室 ・スポーツ体験 ・ハイキング ・社会見学 ・ミスディーツアー	・群れ遊び ・スポーツ体験 ・昔遊び ・お菓子づくり ・工作教室 ※前半は宿題タイム	・群れ遊び ・生活体験 ・スポーツ体験 ・ハイキング ・空手道 ・座禅体験 ・サイクリング	・生活体験 ・文化体験 ・食育 ・料理教室 ・茶道 ・民話語り ・カルタ遊び ・リサイクル工作	・群れ遊び ・工作教室 ・手品 ・お菓子づくり ・スポーツ体験 ・親子活動											
事業立ち上げ		上河内まちづくり協議会役員	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体											
コーディネーター		栃木協働推進員	元PTA会長	魅力ある学校づくり 地域協議会会長	魅力ある学校づくり 地域協議会役員	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター											
児童数		登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
		98	155	63%	37	548	7%	245	644	38%	174	692	25%	253	587	43%	
		1年生	21	21	100%	2	84	2%	65	109	60%	45	106	42%	64	96	67%
		2年生	17	21	81%	17	101	17%	64	101	63%	36	118	31%	56	91	62%
		3年生	19	25	76%	9	85	11%	58	107	54%	30	102	29%	60	109	55%
		4年生	20	30	67%	7	74	9%	32	107	30%	41	105	39%	35	104	34%
		5年生	12	30	40%	1	107	1%	16	106	15%	14	128	11%	28	91	31%
6年生	9	28	32%	1	97	1%	10	114	9%	8	133	6%	10	96	10%		
週あたり実施回数		5回 (月・水・木・金・土曜日)	1回 (水曜日)	2回 (主に月・水曜日)	1回 (水曜日)	2回 (月・水曜日)											

平成29年度「放課後子ども教室」実施状況（H30年3月1日現在）

実施校区	白沢小			豊郷北小			横川東小			豊郷中央小			横川中央小			
名称	正式名称	白沢宮っ子ステーション			豊郷北宮っ子ステーション			横川東宮っ子ステーション			豊郷中央宮っ子ステーション			横川中央宮っ子ステーション		
	愛称	白沢っ子教室			ごえもん			はびねすクラブ			バンブーキッズ			キッズクラブ		
開始時期	平成24年6月			平成24年5月			平成24年6月			平成24年5月			平成24年6月			
主な活動拠点	・体育館ミーティングルーム ・体育館・校庭 ・ランチルーム			・きのこの森 ・わんぱく広場 ・多目的ルーム、ランチルーム ・体育館、校庭			・多目的室 ・校庭・体育館 ・家庭科室・理科室			・図工室 ・体育館 ・旧公民館			・多目的ホール ・体育館 ・グラウンド			
										豊郷地区市民センター・福祉プラザ						
主な内容	・群れ遊び ・文化活動(灯籠づくり) ・郡読 ・科学実験教室			・自然体験 ・群れ遊び ・昔遊び ・クラフト教室			・工作教室 ・生活体験 ・料理教室 ・ウォークラリー			・工作教室 ・漢字検定 ・スラッグライン ・空手道 ・料理教室 ・浴衣の着装、マナー教室			・読み聞かせ ・工作教室 ・グラウンドゴルフ ・輪投げ ・ペーゴマ ・絵本づくり			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			PTAを中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	元PTA副会長			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			PTA関係者			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会役員			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	115	302	38%	96	238	40%	320	914	35%	332	783	42%	108	480	23%	
	1年生	24	52	46%	0	42	0%	80	153	52%	90	135	67%	30	94	32%
	2年生	24	51	47%	30	44	68%	75	134	56%	90	132	68%	28	94	30%
	3年生	32	48	67%	32	43	74%	79	163	48%	70	135	52%	27	82	33%
	4年生	17	52	33%	19	40	48%	46	150	31%	39	123	32%	10	80	13%
	5年生	8	39	21%	12	32	38%	32	166	19%	22	125	18%	11	65	17%
	6年生	10	60	17%	3	37	8%	8	148	5%	21	133	16%	2	65	3%
週あたり実施回数	1回 (主に水曜日)			4回 (主に月・火・木・金曜日)			1～2回 (主に月曜日)			4回 (月・水・木・金曜日)			1回 (主に水曜日)			

実施校区	篠井小			御幸小			雀宮東小			姿川中央小			雀宮南小			
名称	正式名称	篠井宮っ子ステーション			御幸宮っ子ステーション			雀宮東宮っ子ステーション			姿川中央宮っ子ステーション			雀宮南宮っ子ステーション		
	愛称	てんとう虫キッズ			みゆきっ子クラブ			-			おにぎりクラブ			-		
開始時期	平成24年6月			平成24年7月			平成24年9月			平成24年9月			平成24年10月			
主な活動拠点	・校庭 ・体育館 ・家庭科室 ・礼法室			・家庭科室 ・ランチルーム ・体育館 ・校庭 ・第2音楽室			・図工室 ・体育館 ・校庭			・多目的ルーム ・校庭 ・体育館			・地域開放室 ・家庭科室 ・交通公園			
	篠井市民活動センター															
主な内容	・工作教室 ・スポーツ体験 ・料理教室 ・ペーゴマ			・みゆき塾(学習支援) ・工作教室 ・輪投げ ・お点前体験 ・16ミリ映画鑑賞			・昔遊び・かるた・すごろく ・工作教室 ・卓球 ・農園 ・輪投げ ・バルーンアート ・読み聞かせ ・語りべ ・マジック教室			・スポーツ体験 ・群れ遊び ・工作教室 ※終了後に各自宿題を行う			・将棋急お室 ・工作教室 ・園芸体験 ・軽スポーツ ・料理教室 ※終了後に各自宿題を行う			
事業立ち上げ	子どもの家を中心に各種団体			子どもの家を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			
コーディネーター	育成会関係者			魅力ある学校づくり地域協議会役員			元魅力ある学校づくり地域協議会委員			魅力ある学校づくり地域協議会委員			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	33	117	28%	142	438	32%	80	252	32%	170	307	55%	130	423	31%	
	1年生	6	19	32%	37	71	52%	30	48	63%	28	47	60%	39	70	56%
	2年生	7	16	44%	40	76	53%	30	49	61%	40	49	82%	35	75	47%
	3年生	5	24	21%	34	83	41%	10	54	19%	26	44	59%	27	65	42%
	4年生	5	15	33%	28	77	36%	5	41	12%	30	52	58%	15	71	21%
	5年生	5	24	21%	3	68	4%	5	34	15%	34	60	57%	12	70	17%
	6年生	5	19	26%	0	63	0%	0	26	0%	12	55	22%	2	72	3%
週あたり実施回数	1回 (主に水曜日)			2～3回 (月・水・金曜日)			1回 (主に水曜日)			2回 (主に月・水曜日)			3回 (月・火・水曜日)			

平成29年度「放課後子ども教室」実施状況（H30年3月1日現在）

実施校区	桜小			国本中央小			横川西小			城山東小			瑞穂台小			
名称	正式名称	桜宮っ子ステーション			国本中央宮っ子ステーション			横川西宮っ子ステーション			城山東宮っ子ステーション			瑞穂台宮っ子ステーション		
	愛称	—			たけのこクラブ			—			ドリームクラブ			—		
開始時期	平成24年10月			平成24年10月			平成25年1月			平成25年6月			平成25年6月			
主な活動拠点	・PTA活動室 ・体育館			・体育館 ・ミーティングルーム ・図工室			・校庭 ・第2理科室			・体育館2階 ・体育館 ・プール ・家庭科室 ・校庭			・小ホール ・体育館 ・校庭			
	国本地区市民センター															
主な内容	・読み聞かせ ・軽スポーツ ・プール活動 ※宿題などの学習			・工作教室 ・昔遊び ・軽スポーツ ・ふるさと探検 ※宿題などの学習			・もの作り ・グランドゴルフ ・英語 ・わなげ ・将棋 ・パステルアート			・工作教室 ・昔遊び ・軽スポーツ ・水泳 ・料理教室 ・生け花教室 ・年賀状 ※終了後に各自宿題を行う			・工作教室 ・ドッジボール ・ボードゲーム ・スクラップブック作り ※宿題などの学習			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	自治会選出						元五代宮っ子ステーション事業コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会委員			PTAより選出（学校長推薦）			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	118	354	33%	159	371	43%	90	528	17%	62	158	39%	310	677	46%	
	1年生	28	68	41%	42	50	84%	16	98	16%	9	23	39%	81	135	60%
	2年生	28	47	60%	35	53	66%	20	80	25%	13	34	38%	86	123	70%
	3年生	19	49	39%	30	62	48%	22	95	23%	14	23	61%	66	123	54%
	4年生	21	67	31%	25	60	42%	17	92	18%	15	32	47%	43	113	38%
	5年生	8	58	14%	15	68	22%	10	77	13%	8	21	38%	27	106	25%
6年生	14	65	22%	12	78	15%	5	86	6%	3	25	12%	7	77	9%	
週あたり実施回数	2回 (月・水曜日)			2回 (月・水・金曜日)			3回 (主に月・水・金曜日)			1回 (主に水曜日)			4回 (主に月・水曜日)			

実施校区	緑が丘小			中央小			上河内中央小			宮の原小			海道小			
名称	正式名称	緑が丘宮っ子ステーション			中央宮っ子ステーション			上河内中央宮っ子ステーション			宮の原宮っ子ステーション			海道宮っ子ステーション		
	愛称	—			—			わくわく教室			ニコPくらぶ			海道キッズ		
開始時期	平成25年7月			平成25年8月			平成26年5月			平成26年6月			平成26年6月			
主な活動拠点	・なかよし広場 ・体育館			・家庭科室 ・体育館 ・校庭 ・プール			・会議室(体育館2階) ・体育館 ・校庭			・地域開放室 ・体育館			・児童会室 ・体育館 ・校庭 ・図書室			
	緑が丘コミセン						上河内生涯学習センター			宮の原コミセン						
主な内容	・将棋 ・工作教室 ・わなげ ・茶道 ・バスケットボール ・料理 ・剣道			・紅茶部 ・サッカー ・料理 ・水泳 ・クラフト教室 ・軽スポーツ			・工作教室 ・ミニサッカー ・英語教室 ・語りべ ・生け花教室			・夏祭り、クリスマスイベント ・合唱、楽器体験 ・手芸 ・おやつ、そば打ち ・昔遊び ・英会話 ・フラダンス ・オカリナ、お囃子 ・空手 ・囲碁 ・和を楽しむ教室(着付、礼法)			・3B体操 ・いかた作り ・エアロビクス ・グランドゴルフ ・絵画教室 ・工作教室 ・菜園 ・劇作り			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	魅力ある学校づくり地域協議会委員			—			元副校長（学校推薦）			元PTA			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	124	483	26%	110	202	54%	51	241	21%	182	335	54%	121	203	60%	
	1年生	30	77	39%	30	40	75%	0	44	0%	30	42	71%	21	28	75%
	2年生	38	89	43%	23	38	61%	26	42	62%	42	62	68%	20	29	69%
	3年生	25	70	36%	20	31	65%	12	38	32%	42	53	79%	30	44	68%
	4年生	20	92	22%	14	29	48%	7	49	14%	26	54	48%	21	38	55%
	5年生	4	80	5%	18	41	44%	4	36	11%	32	59	54%	15	33	45%
6年生	7	75	9%	5	23	22%	2	32	6%	10	65	15%	14	31	45%	
週あたり実施回数	4回 (主に月・火・木・金曜日)			4～5回 (主に月・火・水・金・土曜日)			1回 (主に水曜日)			3～5回 (主に月～金曜日)			2回 (主に木・金曜日)			

平成29年度「放課後子ども教室」実施状況（H30年3月1日現在）

実施校区		築瀬小			岡本小		
名称	正式名称	築瀬宮っ子ステーション			岡本宮っ子ステーション		
	愛称	—			—		
開始時期		平成28年6月			平成28年10月		
主な活動拠点		・教室 ・校庭			・校庭 ・体育館		
主な内容		・英語教室 ・工作			・工作		
事業立ち上げ		魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体		
コーディネーター		魅力ある学校づくり地域 協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域 協議会 地域コーディネーター		
児童数		登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率
		140	476	29%	113	269	42%
1年生		30	80	38%	28	38	74%
2年生		30	84	36%	28	48	58%
3年生		30	78	38%	33	53	62%
4年生		20	81	25%	17	47	36%
5年生		15	71	21%	5	40	13%
6年生		15	82	18%	2	43	5%
週あたり 実施回数		1回 (主に月曜日)			1回 (主に月曜日)		

魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について

1 趣旨

「魅力ある学校づくり地域協議会」（以下「協議会」）が取り組む事業の実施状況等について報告するもの

2 事業の概要

(1) 目的

学校・家庭・地域等が一体となって、未来を拓く心豊かでたくましい宮っ子を育むために、協議会の活動を通して、地域の教育力を生かした「学校教育の充実」と地域ぐるみの子育てによる「家庭・地域の教育力向上」を図る。

《参考》 魅力ある学校づくり地域協議会について

- 学校・家庭・地域・企業が一体となって、子どもたちのために何ができるかを考え実践する組織として、全ての小中学校区に設置（93協議会）
- 各協議会においては、学校や地域の実情に応じて、以下の取組を実施
 - ① 活力ある学校づくりへの参画
 - ・ 学校運営に関する保護者や地域住民の意見を反映するための協議
 - ・ 学校教育に協力が可能な企業・事業所に関する情報提供
 - ② 地域の教育力を生かした学校教育の充実のための取組
 - ・ 学習支援に協力する地域人材のコーディネート
 - ・ 体験活動や校外活動を実施する際の協力者の募集
 - ・ 教室内外の環境整備や教材作成への連携・協力
 - ③ 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保のための取組
 - ・ 学校・地域が一体となった、地域ぐるみのあいさつ運動の実施
 - ・ 登下校時の安全確保のための立哨，巡回パトロールの実施
 - ④ 家庭・地域の教育力向上のための取組
 - ・ 学校施設を活用した子育て講座や食育に関する講座の実施
 - ・ 子ども向けプログラムや地域フォーラム，異世代交流事業の実施

(2) これまでの経過等

- 平成 18～20 年度 全小中学校区で協議会を設置（93協議会）
- 平成 20～22 年度 文部科学省委託事業「学校支援地域本部事業」実施（53協議会）
- 平成 23 年度～ 「地域はみんなの学校」づくり事業の実施
（H25 度より「魅力ある学校づくり地域協議会活動推進事業」に改称）
- 平成 27 年度～ 委託方法の一部見直し
（支援会議を通じた委託から，各協議会への直接委託に変更）

3 平成29年度の実施状況

(1) 協議会の活動

9.3 協議会が地域の実情に応じた活動を実施

(2) 協議会の活動に対する支援

「魅力ある学校づくり地域協議会支援会議」を活用し、地域の実情に応じた支援を実施

ア 総合的な連絡調整を担う地域コーディネーターの養成

- ・研修会・情報交換会の実施（4回／年）
- ・「魅力ある学校づくり地域協議会活動事例集」等を活用した活動支援

イ 先進事例の情報提供

- ・「魅力ある学校づくり地域協議会通信」発行（4回／年）

ウ 協議会活動の普及啓発

- ・「魅力ある学校づくり地域協議会活性化実践事例集」を活用した活動支援
- ・周知啓発チラシ配付（自治会回覧，PTA配付）
- ・広報うつのみや特集掲載（6月号），活動成果のパネル展示（4回／年）
- ・「魅力協 愉快だ 宇都宮」の愉快ロゴ作成
- ・周知啓発用ポケットティッシュ配布

(3) 事業実施における成果

- ・地域の大人が子どもの育ちに係る活動への参加を通して、児童生徒との交流が進み、地域ぐるみでの子育て意識の醸成を図るとともに、地域の教育力向上を図ることができた。
- ・地域の大人がボランティアとして、学校教育支援活動や校内環境整備活動等に参加することを通して、学校教育の充実を図ることができた。
- ・児童生徒が地域の大人との交流やふれあいを通して、「ナナメの関係」の中で、コミュニケーション能力や豊かな人間性などの「生きる力」を身につける機会の充実を図ることができた。

(4) 課題等

- ・活動に参加・協力してもらえる人材の確保（地域コーディネーターの複数配置，学校支援ボランティアの裾野拡大 など）
- ・各協議会における活動内容の更なる充実（先進事例の普及啓発，組織体制の強化）

平成 29 年度 家庭教育支援事業の実施状況について

◎ 趣旨

本市の人づくりにおいて重要な役割を担う家庭の教育力向上に係る事業の実施状況について報告するもの

1 基本的な考え方

子どもを育てる基本的な主体は家庭にあり、親自身が家庭や親の役割、親としての責任、子どもとのより良い関わり方などを自覚しながら、子どもの教育に取り組んでいく必要がある。こうしたなか、本市においては、家庭の教育力の向上を目指して保護者による学びを促進する「親学」をはじめ、地域や家庭教育支援団体による取組への支援や企業に対する意識啓発を行うなど、学校・家庭・地域・企業等と連携した家庭教育支援事業の推進に取り組んでいく。

2 平成 29 年度実施状況

(1) 親学出前講座の実施

目 的	学校等からの依頼で、保護者の集まる機会に、親学に関する講話等を行うことにより、保護者の家庭教育に対する意識の高揚を図り、もって家庭の教育力向上を図る。
実施期間	平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月
実 績	実施講座数 126 件、参加者数 5,590 名 ※平成 28 年度 講座数 145 件 参加者数 6,331 名
プログラム	・市 P T A 連合会や企業等との連携講座を含め、57 のプログラムを提供 (平成 28 年度：56 プログラム) ・講話やワークショップ、実技など多様な形態で実施
成 果 等	・結果満足度調査(参加者アンケート) 回答数 2,825 名(平成 30 年 2 月まで) とてもよかった+まあまあよかった…約 96% (平成 28 年度：約 96%) 【主な意見】 ・子どもへの日々の接し方を見つめ直し、子育てについてじっくりと考えるよい機会となった。 ・親子の関わりを大切にし、前向きな気持ちで子育てをしていこうと思うことができた。
そ の 他	・家庭教育支援者との連携を強化及び講座の質を高めるために、親学習プログラム指導者研修会を 10 回実施し、ファシリテーターとしてのスキルアップを図った。 ・商工会議所等と連携を図り、企業内研修における親学出前講座として 3 企業等で開催した。

(2) うつのみや版親学と子どもの情報誌の発行

目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長のために、保護者に知っておいてほしいことや学んでほしいことを伝えるとともに、親学に関する事業等を紹介する。 ・土日や長期休業中に、子どもが参加できる各種講座・イベント、ボランティア活動等に関する情報を収集または提供し、子どもたちの体験活動を推進する。
対 象 者	中学校3年生までの子どもをもつ保護者と児童・生徒
発行部数	6万7千部、12ページ（冊子型）
配布方法	保育園、幼稚園、小中学校、公共施設等を通じた配布
発 行	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「お手伝いって、いいね」（第13号） 「“子どもの遊び”のヒミツ」（第14号） ・発行時期 平成29年7月、平成30年2月

(3) 家庭教育サポーターの養成

目 的	子育て不安の解消や家庭の教育力向上を図るため、身近な地域において親同士のネットワーク構築に向けた交流促進を図るとともに、孤立している親への支援を行う人材（家庭教育支援ボランティア）を養成する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の乳幼児の子（未就学児）をもつ親に積極的に話しかけ、子どもの家や子育てサロン等に関する情報提供を行う等、交流機会の促進を図る。 ・家庭教育に関する軽微な相談に応じる。 ・子どもの家等におけるイベント運営補助等を行う。
修了者数	<ul style="list-style-type: none"> ・修了者総数 90名 ※現在、家庭教育サポーターの活動の充実を図るため、制度の見直しを行っており、今年度に関しては、養成講座の実施を中止とした。
養成後の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター研修会（フォローアップ）の実施 ・子どもの家子育て支援事業指導員との合同研修会の実施 ・子どもの家との連携を図り、必要に応じた助言やイベントの支援 ・生涯学習センター実施の子育て講座において相談会の実施 ・サポーターと協働企画運営講座の実施 「子育てママのための スマイル応援講座」（11月実施・全3回）

3 今後の取組

- ・ 家庭の教育力向上を図るため、保育園・幼稚園・学校及び市PTA連合会や保護者会等との連携強化に努め、草の根的に親学を推進する。また、心豊かでたくましい子どもの育成を図るため、「自己肯定感の育成」を基本理念とし、「たくましさの涵養」につながる講座等の充実に努める。
- ・ 地域ぐるみの家庭教育支援の仕組みづくりを図るため、魅力ある学校づくり地域協議会や地域で活動する家庭教育支援団体、地域社会を構成する関係団体の協力を得て親学講座を開催するとともに、市商工会議所や企業等とより一層の連携を図り、企業等連携プログラムの充実や企業内研修としての親学実施に努める。
- ・ 家庭教育支援者の養成を今後も継続するとともに、本市の家庭教育支援事業において活動する支援者の総称を「家庭教育支援活動者」とし、それぞれの特徴を生かした一体的な家庭教育支援体制（チーム化）を構築し、その活動に対し支援を行う。

平成 29 年度 宇都宮市民大学の実施状況について

◎ 趣旨

平成 29 年度宇都宮市民大学(前期・後期)の実施状況について報告するもの

1 市民大学の概要

市民大学は、市民の生涯学習における高度で専門的な学習要求に応え、講座企画・運営ボランティアスタッフによる市民企画運営型の講座や市内の大学との連携による専門性の高い講座を実施する事業であり、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座であることから、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える講座を開催する。

2 前期 合同開講式・公開講座

- (1) 日 時 平成 29 年 5 月 26 日(金) 午後 2 時～午後 4 時
 (2) 会 場 文星芸術大学 第 1 キャンパス 南校舎棟 2 階 大講義室
 (3) 内 容 ・合同開講式

・公開講座 演題 「マンガ家生活 60 年を越えて
 ～母はマンガが大っ嫌いだった！！～」

講師 文星芸術大学 美術学部 教授 ちば てつや 氏

3 前期 専門講座

No.	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 宇都宮市の近現代 (全 7 回)	宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良 氏	6/2 ～ 7/14	(50) [114] 49	43 (87.8%)
2	II 今を読み解く現代社会コース 世界を見る、世界が見る、宇都宮 ～踏み出そう！国際社会人への第一歩～ (全 7 回)	NPO 法人宇都宮市国際交流協会 理事 丸山 秀彦 氏 講師 マイエル・ギヨム 氏 講師 柳田 文 氏 宇都宮大学 国際学部 教授 松金 公正 氏 准教授 スエヨシ アナ 氏 宇都宮大学 留学生・国際交流センター 准教授 湯本 浩之 氏 宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授 中村 祐司 氏	5/30 ～ 7/11	(50) [49] 45	31 (76.6%)
3	III 暮らしを彩る教養コース 日本刀の魅力を探る ～世界が認めた究極の美～ (全 7 回)	日本美術刀剣保存協会 栃木県支部 参議 刀匠 加藤 慎平 氏 刀装・刀装具 小谷 肇 氏 刀剣 金井 弘 氏 研師 枝松 孝治 氏	5/30 ～ 7/11	(50) [58] 50	40 (80.0%)
4	III 暮らしを彩る教養コース 円空仏の微笑みに魅せられて ～円空に出会う旅～ (全 5 回)	文星芸術大学 美術学部 准教授 大澤 慶子 氏 興雲律院 住職 中川 光熹 師	6/1 ～ 6/29	(50) [168] 51	44 (91.7%)
5	III 暮らしを彩る教養コース 最新の宇宙研究 ～宇宙 138 億年を旅する～ (全 7 回)	宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏 国立天文台 名誉教授 海部 宣男 氏 NPO 法人「宇宙子ども未来の会」会長 JAXA(宇宙航空研究開発機構) 名誉教授 平林 久 氏	6/5 ～ 7/24	(60) [101] 80	65 (86.6%)

6	Ⅲ 暮らしを彩る教養コース 【文星芸術大学連携講座】 アートがひらく多様な世界 (全6回)	文星芸術大学 学長 上野 憲示 氏 文星芸術大学 美術学部 教授 多田 夏雄 氏 教授 田中 誠一 氏 准教授 吉田 利雄 氏 准教授 中村 寿生 氏 文星芸術大学 地域連携センター センター長 長島 重夫 氏	6/5 ～ 7/10	(50) [49] 47	41 (87.2%)
計				(310) [539] 311	264 (84.9%)

※ 修了者数は、4分の3以上の出席者

4 後期 合同開講式・公開講座

(1) 日 時 平成29年10月23日(月) 午後2時～午後4時

(2) 会 場 宇都宮市役所 14階大会議室

(3) 内 容 ・合同開講式

・公開講座 演題 「私たちが若者に伝えられること
～いきいき宇都宮 Life のススメ～」

講師 作新学院大学女子短期大学部 教授 西田 直樹 氏

5 後期 専門講座

No.	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	Ⅰ 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 修復師から見た日光の社寺 ～日本の宝を後世に伝える 伝統職人の技～ (全6回)	日光市教育委員会事務局文化財課 副参事 鈴木 泰浩 氏 金沢金箔伝統技術保存会 会長 松村 謙一 氏 岩手県浄法寺漆生産組合 組合長 泉山 義夫 氏 株式会社 喜屋 代表取締役 松下 満 氏 公益財団法人 日光社寺文化財保存会 技師長・工事監督 浅尾 氏, 漆塗管理技術者 佐藤氏, 上席主任技師 原田氏, 彩色主任技能士 手塚氏 株式会社 小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン 氏	10/28～ 12/9	(80) [110] 79	59 (74.7%)
2	Ⅰ 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 「秀吉の知略!家康の戦略!」 ～秀吉の宇都宮・会津仕置から 家康の小山評定・関ヶ原の戦いまで～ (全7回)	大田原市黒羽芭蕉の館 学芸員 新井 敦史 氏 栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫 氏 株式会社 産経新聞社 宇都宮支局 次長 水野 拓昌 氏 小山市立博物館 学芸員 尾上 仁美 氏	10/30～ 12/11	(50) [171] 49	42 (85.7%)

3	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 〔V スタッフ養成講座修了生企画講座〕 ぎょうざ・いちごに続け Only1 への挑戦 (全5回)	株式会社あしぎん総合研究所 チーフエコノミスト 豊田 晃 氏 非営利活動法人とちぎ未来文庫 代表理事 五十嵐 幸子 氏 株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長 松本 謙 氏 宇都宮大学 農学部 准教授 柏寄 勝 氏 株式会社日本経済新聞社 宇都宮支局長 花淵 敏 氏	10/31～ 11/28	(50) 〔27〕 24	18 (75.0%)
4	II 今を読み解く現代社会コース どこまで進化する人工知能 (A I) ～人工知能 (A I) は 人間の頭脳を超えるのか～ (全6回)	宇都宮大学工学部 機械知能工学専攻 教授 尾崎 功一 氏 帝京大学理工学部 情報電子工学科 講師 山根 健 氏 宇都宮大学工学部 機械知能工学専攻 准教授 星野 智史 氏 株式会社 ViAR&E 代表取締役 市浦 茂 氏 宇都宮大学工学部 機械知能工学専攻 教授 横田 和隆 氏	11/10～ 12/22	(50) 〔65〕 60	51 (85.0%)
5	III 暮らしを彩る教養コース 担当記者が見た司馬遼太郎さん ～街道についてゆく～ (全5回)	株式会社朝日新聞出版 週刊朝日 編集委員 村井 重俊 氏	10/31～ 11/28	(70) 〔122〕 78	70 (89.7%)
6	III 暮らしを彩る教養コース 〔作新学院大学連携講座〕 「キラッと輝く宇都宮 Life」 ～毎日を笑顔にする、 さわやか学習メニュー～ (全5回)	作新学院大学女子短期大学部 教授 青木 章彦 氏 作新学院大学 経営学部スポーツマネジメント学科 講師 菅谷 美沙都 氏 作新学院大学 経営学部スポーツマネジメント学科 准教授 関根 正敏 氏 作新学院大学女子短期大学部 講師 宍戸 良子 氏	11/6～ 12/4	(40) 〔17〕 15	14 (93.9%)
計				(340) 〔512〕 305	254 (83.3%)

※ 修了者数は、4分の3以上の出席者

平成29年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について

◎ 趣 旨

平成29年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況について報告するもの

1 実施状況

- (1) 開催日時 平成29年5月18日(水)～平成30年2月7日(水)
- (2) 実施講座 12講座(全2回～全8回の講座)
- (3) 受講者数 775名

2 講座実績一覧

No.	講座名(開講数)	講座概要	講師	開催日	受講者数
1	子育てにいかす!アン ガーマネジメント ～親子で学ぶ 感情コントロール～ (全2回)	「怒り」の感情のメカニズム や自分の考え方の傾向を知 り、その感情のコントロール方 法を学ぶことで、親子のふれ あいや対話の中での実践に つなげる講座。	①②アンガーマネジメント協会 コンサルタント 山本 果奈	①5/17 ②5/20	定数 親子30組 申込者 21組47人 受講者 21組47人
2	宮の朝活(前期) ～どっぷり大谷!～ (全5回)	日頃、多忙な20～40代の 就労世代を対象に、早朝の 時間帯を活用して魅力的な 学習機会を提供する教養講 座。今回は、本市が誇る「大 谷石」について、多様な切 り口から学ぶほか、館外学 習等を通して受講者同士の 交流も図る教養講座。	①宇都宮市文化課文化財保護グループ 係長 君島 直人 ②宇都宮美術館 主任学芸員 橋本 優子 ③宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 安森 亮雄 ④宇都宮市経済部都市魅力創造課 大谷振興室 主任 佐藤大地 ⑤株式会社ファーマーズ・フォレスト えにしトラベル 日本観光文化観光コーディネーター 石崎 美映子	①6/2 ②6/9 ③6/16 ④6/23 ⑤6/30 ※7/9 スピン オフ	定員 40人 申込者 53人 受講者 50人
3	講座企画・運営ボラン ティアスタッフ養成講座 第1部 (全8回)	宇都宮市民大学や生涯学 習センターなどにおいて、市 民目線から現代の社会情勢 を的確に捉え、必要とされる 生涯学習講座の企画・運営 を担う人材(Vスタッフ)を養 成する講座。	①尚絅学院大学 特任教授 エクステンションセンター長 松田 道雄 ②～⑧市社会教育主事	①6/21 ②6/28 ③7/5 ④7/12 ⑤7/13 ⑥7/19 ⑦7/26 ⑧8/18	定員 16人 申込者 6人 受講者 6人
4	～「最近の若者は…」と いう前に～ 先読み困難社会に生き る若者とわたしたち (全2回)	50代以上を対象に、主に 若年層が直面している雇用 問題・貧困問題の現状・背景 について理解を深めるととも に、社会全体の問題として捉 え、地域でサポートする実践 の第一歩を考える講座。	①とちぎ若者サポートステーション 代表理事 中野 謙作 ②聖学院大学 客員准教授 藤田 孝典	①7/12 ②7/19	定員 40人 申込者 54人 受講者 51人
5	夫婦コミュニケーション ～妻のイライラ・夫のハ テナ～ (全2回)	「男女の考え方の違い」に ついて理解を深め、円滑な 人間関係につなげるととも に、「断捨離」を学ぶことで、 自分のモノへの捉え方や心 の整え方などを見直す講座。	①夫婦問題カウンセラー 西澤 寿樹 ②やましたひでこ公認 断捨離トレーナー こばやし りえ	①9/6 ②9/13	定員 40人 申込者 48人 受講者 46人

6	アクティブシニア応援講座 ～地元で踏み出すセカンドステージ(はじめの一步)～ (全4回)	地域活動など様々なセカンドライフのあり方を知り、知識を身につけることで、活動を始めるきっかけづくりとする講座。	①有限会社アリア 代表取締役 松本すみ子 ②NPO法人 古賀志山を守ろう会 理事長 池田 正夫 株式会社 Active Rose “香りの庭” 代表 岩崎 純子 ③紙芝居 ねんりん29の会 代表 久保 多嘉志 ほか 一芸館 荒井 純子 ④とちぎボランティアNPOセンター ぼ・ぼ・ら コーディネーターリーダー 小針 協子	①9/27 ②10/4 ③10/11 ④10/18	定員 30人 申込者 35人 受講者 35人
7	世界が注目「非認知スキル」～未来をたくましく生きる力を育てよう～ (全2回)	時代の変化に対応し、生き抜く力を持ったたくましい子どもを育てるため、「非認知スキル」の重要性を知るとともに、家庭でできる「非認知スキル」の高め方について、事例を通して学ぶ講座。	①宇都宮大学教職大学院 教授 青柳 宏 ②宇都宮大学附属幼稚園 副園長 五十嵐 市郎	①9/29 ②10/6	定員 40人 申込者 72人 受講者 50人
8	坂井塾 名人から教わる工作～子どもたちに伝えたい体験活動～ (全3回)	子どもに関わる地域活動をしている人を対象に、子どもたちに伝えていきたい工作の技術や体験活動のよさを、宮のものづくり達人である坂井勝雄氏から学ぶ講座。	①②宮のものづくり達人 宇都宮市ベエゴマ協会 会長 坂井 楞山	①10/14 ②10/21 ③11/26	定員 30人 申込者 11人 受講者 11人
9	子育てママたちのへのスマイル応援講座 (全3回)	乳幼児の子どもとその親を対象に、家庭教育サポーターがもつノウハウを生かして、手遊び歌や読み聞かせ、制作遊び、ママたちとの座談会などを通して、子どもとの関わり方などを学ぶ講座。	①～③家庭教育サポーター (市社会教育主事) ③親学習プログラム指導者	①11/1 ②11/8 ③11/15	定員 24人 申込者 24人 受講者 22人
10	宮の朝活(後期) ～プレモニ企画!～ (全3回)	前期受講者の中から企画運営委員を募り、企画から実施まで事務局と協働で運営する教養講座。今後、地域活動などにおいて活躍できる人材の発掘および育成も目的とする講座。	①FRENCH COFFEE FAN CLUB オーナー 板橋 正智 ②栃木県書道連盟 会長 松本 宜響 ③NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事 岩井 俊宗	①11/10 ②11/17 ③11/24	定員 40人 申込者 49人 受講者 47人
11	【第10回うつのみや人づくりフォーラム「地域教育メッセ」記念講演×親学スペシャル】 奇跡のピアニスト辻井伸行の母 辻井いつ子氏講演会	本市が家庭教育支援で重点項目としている「子どもの自己肯定感」について、著名な奇跡のピアニスト辻井伸行の母 辻井いつ子氏を講師に迎え、事例を通して理解を深める講座。	①奇跡のピアニスト 辻井伸行氏の母 辻井 いつ子	①11/26	定員 400人 申込者 330人 受講者 364人
12	講座企画・運営ボランティアスタッフ養成講座第2部 Vスタッフ企画運営講座 かがやき塾 ときめき大人の教養講座 (全2回)	Vスタッフ養成講座の第二部実習として、養成講座受講生が企画・運営を行う人材かがやきセンター版市民企画運営講座。	①栃木県立博物館 名誉学芸員 柏村 祐司 ②NPO法人シニア大楽 理事長 藤井 敬三	①1/31 ②2/7	定員 50人 申込者 48人 受講者 46人

平成30年宇都宮市成人式について（実施状況報告）

◎ 趣 旨

平成30年宇都宮市成人式の実施状況について情報提供するもの

1 開催日時及び会場

平成30年1月7日（日） ホテル・結婚式場等8施設、25中学校区会場で実施

・午前開催（10:00～12:00）

14会場／旭・陽南・星が丘・陽東・宮の原・瑞穂野・豊郷・晃陽・姿川・雀宮・
鬼怒・上河内・古里・河内中学校区会場

・午後開催（14:00～16:00）

11会場／一条・陽北・陽西・泉が丘・清原・横川・国本・城山・宝木・若松原・
田原中学校区会場

（1）式典（約20分）

「激励のことば」 市長又は市長ビデオメッセージ

「お祝いのことば」市議会議長・議長代理

「誓いのことば」新成人代表者 など

（2）地域交流事業（式典終了後～） 資料6別紙 参照

2 該当者

平成9年4月2日～平成10年4月1日の間に生まれた本市住民基本台帳に登載されている者

※ただし、本市出身者で市外に転出した等特別な事情が認められる者も対象とする。

3 出席状況

	平成30年（今回）			平成29年
	男	女	合計	合計
該当者数※	2,752人	2,677人	5,429人	5,425人
出席者数	1,971人	2,049人	4,020人	3,982人
出席率	71.6%	76.5%	74.0%	73.4%

※該当者数…住民基本台帳掲載の該当者に「市外在住で本市成人式に参加を希望する者」を加えた数

4 平成30年宇都宮市成人式の実施状況

- 式典は厳粛に、地域交流事業は和やかな雰囲気のもと、円滑に運営することができた。
 - 各会場では、新成人が実施委員会委員として成人式の企画・運営に携わり、当日の司会進行も新成人の実施委員が行うことで、他の新成人の参加意識を高めることができた。
 - 本市が進めている地域教育の視点を踏まえ、新成人が地域の人から学び、地域へつながることができるよう、各会場において本市や地域の特性を活かした事業（ノンアルコールカクテルで乾杯、地域の特産物の提供、現中学生による「よさこい」披露など）を実施した。
 - 新成人の「地域社会の一員としての自覚を育む」ことを目的に、文星芸術大学との連携により、在籍する新成人がデザインした成人式プログラムを作成した。
 - 昨年に引き続き、新成人が地域全体から応援されていることを自覚し、郷土愛を育むきっかけづくりをするため、地域の協賛団体・企業等の名称を掲載した「新成人応援ポスター」を各会場に掲示したほか、案内状・プログラムにも企業等名を掲載した。
 - ・各地域での協賛団体・企業等
472団体・企業等（前年度 455団体・企業等）
 - ・成人式案内状への広告協賛 1社（洋服の青山）
 - ・成人式プログラムへの広告協賛 8社
(株式会社宇都宮コミュニティメディア「ミヤラジ」、協同組合宇都宮餃子会など)
- ※ご協力いただいた団体等の名称については、市のホームページにも、掲載している。

5 今後の成人式について

- ・新成人を対象に実施したアンケート結果や実施委員会の意見等を踏まえながら、今後の成人式がより充実した事業となるよう、内容やあり方等を検討していく。

平成30年宇都宮市成人式 新成人の参加状況・地域交流事業内容調査票

資料6 別紙

平成30年1月15日現在

校 区	成人式会場	担当	司会進行		誓いのことば		その他		計	主な地域交流事業内容等
			男	女	男	女	男	女		
一条	護国会館	中央	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	8	懇談(クラスごとの記念写真撮影), 恩師からのお祝いのことば, 恩師へ花束贈呈, 新成人代表から地域の方々(来賓も含む)へお礼のことば, 一条中学校・宇都宮市に関するクイズ大会
陽北	ホテル東日本宇都宮	中央	1	1	1	1	地域交流事業司会2 お礼のことば1 恩師への花束贈呈1	地域交流事業司会2 お礼のことば1 恩師への花束贈呈1	12	懇談(クラスごとの記念写真撮影), 恩師からのお祝いのことば, 恩師へ花束贈呈, 新成人代表から地域の方々(来賓も含む)へお礼のことば, 抽選会
旭	護国会館	中央	1	2	1	1	地域交流事業司会2	地域交流事業司会1 お礼のことば2	10	懇談(全体・クラスごとの記念写真撮影), 恩師へ花束贈呈, 新成人代表から地域の方々(来賓も含む)へお礼のことば 中学校時代の思い出スライドショー
陽南	宇都宮東武ホテルグランデ	南	1	1	1	1	開式のことば1 閉式のことば1 お礼のことば1		9	恩師から祝辞, 5年後の自分への手紙配布, フリートーク, 恩師へ花束贈呈, 新成人から地域の方々へお礼のことば。
陽西	宇都宮グランドホテル	西	2	2	1	1	来賓受付1 お礼のことば1 新成人受付1 地域交流事業企画1	来賓受付1 お礼のことば1 新成人受付2 地域交流事業企画1	13	恩師を囲んでの懇談会, クラス単位の集合写真及び懇談会のスナップ写真撮影, 各校中学校時代の思い出DVD上映, 地域へのお礼のことば披露, お礼の言葉メッセージカード進呈, 新成人の出生時・中学卒業時10大ニュースのパネルに掲示, くじ引き大会
星が丘	宇都宮東武ホテルグランデ	北	1	1	1	1	感謝のことば 1	感謝のことば 1	6	クラス記念写真撮影, DVD上映(ニュース, 中学校の思い出), 恩師への花束贈呈と恩師からの一言, 新成人代表から地域の方々及び恩師への感謝のことば, 校歌合唱。
陽東	ホテルニューイタヤ	東	0	2	2	0	受付 2	受付 4 お礼のことば 1	11	恩師への花束贈呈, 記念写真撮影, 恩師からの祝辞, 新成人代表者から地域の方々へのお礼のことば。
泉が丘	ホテルニューイタヤ	東	1	1	0	2	お礼のことば 1	受付 2	7	恩師への花束贈呈, 記念写真撮影, 新成人が作成したスライド上映, 恩師からの祝辞, 新成人から地域の方々へお礼のことば。
宮の原	宇都宮グランドホテル	西	2	2	1	1	お礼のことば1	来賓受付2 お礼のことば1	8	恩師を囲んでの懇談会, クラス単位の集合写真及び懇談会のスナップ写真撮影, 中学校時代の思い出でDVD上映, 恩師からのお祝いスピーチ, 地域へのお礼のことば披露, お礼のことばメッセージカード進呈, 新成人の出生時・中学卒業時10大ニュースをパネルに掲示, くじ引き大会, 中学校校歌斉唱, 現中学校生のよさこい披露, 恩師への花束贈呈
清原	ホテルマイステイズ宇都宮	清原	1	1	1	1	地域交流事業司会1 受付2	地域交流事業司会1 お礼のことば2 受付2	12	実施委員長あいさつ, 新成人代表から地域の方々へお礼のことば, 記念写真撮影, 中学時代の写真等で「思い出のアルバム」を作成し上映, 恩師へ花束贈呈, 恩師からのメッセージ, 地元農産物(梨ジュース, プリン)の提供, 新成人による協賛者への礼状作成。
横川	ホテルマイステイズ宇都宮	横川	1	1	0	1	開式のことば1 地域交流事業司会1 お礼のことば1 終了のあいさつ1	閉式のことば1 地域交流事業司会1 お礼のことば1	10	新成人代表から地域の方々へお礼のことば, 記念撮影, 校歌斉唱, 恩師からのお祝いのことば, 新成人代表から恩師への花束贈呈。
瑞穂野	宇都宮グランドホテル	瑞穂野	1	1	2	0	地域交流事業司会1 地域交流事業抽選会2	お礼のことば2 地域交流事業司会1 地域交流事業抽選会2	6	新成人代表から地域の方々へお礼のことば, クラス別の記念写真撮影, 恩師からのお祝いのことば, 「20歳へのメッセージ」(小6のリーダー講習会の時に書いた自分へのメッセージ)の配布・発表, 抽選会, スナップ写真を後日ロビーに掲示。
豊郷	ホテル東日本宇都宮	豊郷	0	2	0	2	乾杯1 感謝のことば1	地域交流事業司会2	8	懇談, クラス別記念写真・スナップ写真撮影, 新成人作成のDVD上映, 恩師からのメッセージ, 恩師への花束贈呈, キラキラCM上映, 新成人代表から地域の方々へお礼のことば。
国本	ホテル東日本宇都宮	国本	1	1	1	1	地域交流事業1 乾杯1	地域交流事業1 お礼のことば1	8	新成人代表からお礼のことば, ノンアルコールカクテルで乾杯, 恩師への花束贈呈, 記念撮影, 恩師からお祝いのことば。
城山	コンセーレ	城山	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付4	地域交流事業司会1 受付4	15	写真撮影, 中学校時代の思い出のクイズ大会, 恩師への花束贈呈, 恩師からの祝辞, 校歌斉唱, 新成人から地域の方々へお礼のことば。
晃陽	ホテル丸治	篠井・富屋	1	1	1	1	開会のことば・閉式のことば 1 乾杯 1 地域交流事業進行 1	お礼のことば 1 地域交流事業進行 1	6	恩師からのお祝いの言葉, 恩師への花束贈呈, 記念写真撮影, DVD上映(中学校時代), 抽選会, 感謝の言葉(メッセージカードに記入), 記念品配布
姿川	コンセーレ	姿川	1	1	1	0		お礼のことば1	4	クラス別記念撮影及びスナップ写真(DVD配布)・懇談会, 恩師からのメッセージ, 恩師へメッセージ色紙・花束贈呈, 新成人代表から地域の方々へお礼のことば。
雀宮	ホテルニューイタヤ	雀宮	1	1	1	1	開式のことば 1 地域交流事業司会 1 お礼の言葉 1	閉式のことば 1 地域交流事業司会 1 地域交流事業補助 1 お礼の言葉 1	11	恩師への花束贈呈, 恩師からのメッセージ, 恩師との懇談, 記念写真(クラス別集合写真)撮影, 抽選会, 記念品配布等
鬼怒	ホテルマイステイズ宇都宮	平石	1	1	1	1	お礼のことば1 地域交流事業司会1 乾杯1 受付1	お礼のことば1 地域交流事業司会1 乾杯1 受付1	12	各クラスごとに記念撮影し写真を鬼怒中学校成人式のホームページに掲載, 新成人代表から地域の方々へお礼のことば, 鬼怒中学校部活動ビンゴ, 恩師からのお祝いのことばと花束贈呈。
宝木	宇都宮東武ホテルグランデ	北	0	2	1	1	来賓誘導案内 1 感謝のことば 1	来賓誘導案内 1 来賓接待 1 感謝のことば 1	9	宝木中, 宇大附属中ともに, クラス記念写真撮影, DVD上映(当時の写真等), 恩師への花束贈呈と恩師からの一言, 新成人代表から地域の方々及び恩師への感謝のことば。
若松原	宇都宮東武ホテルグランデ	南	1	1	1	1	開式の言葉1	閉式のことば1	6	恩師から祝辞, 思い出のスライドショー, 恩師へ花束贈呈, 新成人から地域の方々へお礼のことば。
上河内	ホテルマイステイズ宇都宮	上河内	1	1	1	1	乾杯1 お礼のことば1	乾杯1	6	恩師からのお祝いのことば, 恩師への花束贈呈, 各クラスごとの記念撮影, 新成人製作の思い出のDVDスライドショー放映
古里	ホテル東日本宇都宮	河内	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付5	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付4	17	新成人代表から地域の方々へお礼のことば, 各クラスごとの記念写真撮影, 恩師からのお祝いのことば, 恩師への花束贈呈, 古里中学校校歌を流した。
田原	ホテル東日本宇都宮	河内	3	0	1	0	地域交流事業司会3 お礼のことば1 受付4		12	新成人代表から地域の方々へお礼のことば, 『カクテルの街・宇都宮』として, カクテル(ノンアルコール)で乾杯, 各クラスごとの記念写真撮影, 恩師からのお祝いのことば, 恩師への花束贈呈。
河内	ホテル東日本宇都宮	河内	1	1	1	1	地域交流事業司会1 受付3	お礼のことば1 受付3	12	新成人代表から地域の方々へお礼のことば, 各クラスごとの記念写真撮影, 恩師からのお祝いのことば, 恩師への花束贈呈。
合 計			26	30	24	23			238	←兼務を含む

「宇都宮市歴史文化基本構想」の策定について

1 策定の目的

市内に所在する歴史文化資源を指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて的確に把握し、その周辺環境まで含めて総合的に保存・活用するための考え方や方針をまとめ、将来にわたり地域固有の歴史文化を守るとともに、これらを活かした人づくりやまちづくりの取組を進めていくうえでの指針とすることを目的に策定するもの

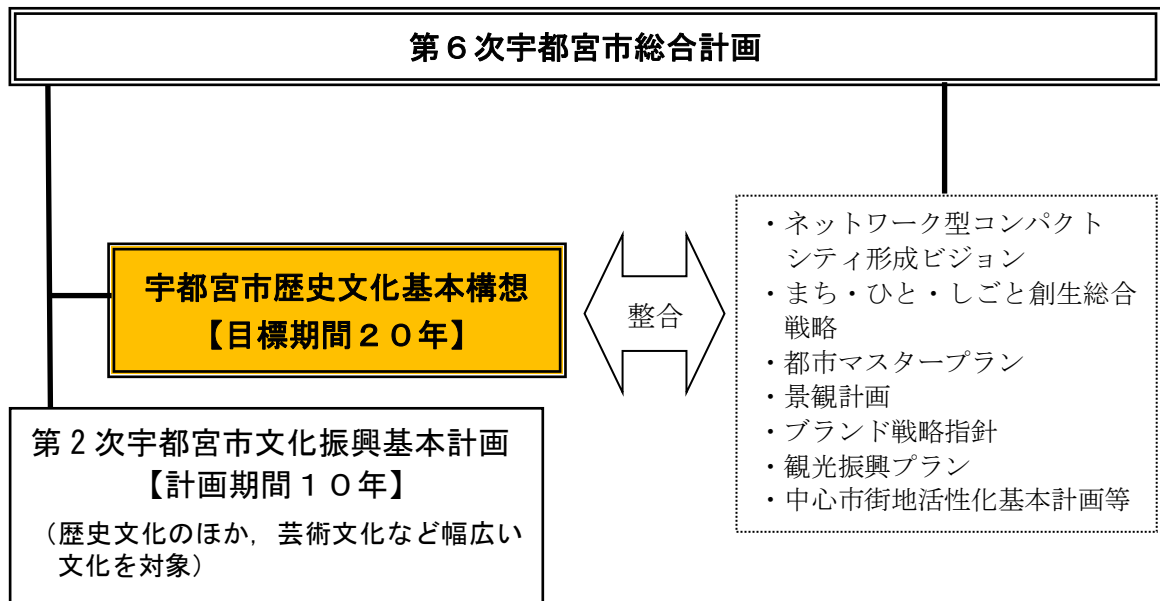
2 策定の背景

国は、自治体における文化財保護のマスタープランとして「歴史文化基本構想」の策定を促しており、平成24年に策定技術指針を示し、平成27年から策定に対し補助を行っている。

また、本構想を策定した自治体は、今年度、国が新設した「歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業」の補助対象となるほか、日本遺産に係る申請の根拠となる。

3 構想の位置付け

本構想は、「第2次宇都宮市文化振興基本計画」における「文化財保護」分野の上位計画として位置づけるとともに、「第6次宇都宮市総合計画」に掲げる「魅力創造・交流の未来都市」の実現に資する構想として、市民が本市の歴史や文化の理解を深め、郷土への誇りや愛着を醸成し、歴史文化資源の適切な保存と活用を推し進めていく基本となる方向性を示すものである。



4 構想の目標期間

平成29年度から平成48年度までの20か年の構想とし、大きな環境要因の変化などがあつた場合には、必要に応じて随時見直す。

5 策定の経過

平成28年	4月	策定体制等について庁議及び教育委員会へ報告
	8月～	策定懇談会の開催（6回）
	11月～	庁内策定委員会・作業部会等の開催 （委員会5回，作業部会6回，個別課題検討チーム7回）
	12月～	市民ワークショップ開催（地域会4回，全体会1回）
平成29年	10月	関係部長会議，教育委員会
	11月～	パブリックコメント
平成30年	1月	宇都宮市文化財保護審議委員会，教育委員会，庁議（構想の決定）
	2月	大谷石文化をテーマとした日本遺産申請

6 構想の内容・特徴

(1) 内容

「宇都宮市歴史文化基本構想」概要版・・・ 別紙

(2) 特徴

ア 活かして守る文化財行政への転換

市民ワークショップや3,800件に上るデータ収集を通じて、本市の歴史文化資源の特性や分布状況等の総合的な把握と、大谷石を始めとする特徴的な資源の抽出を行った。

これらの歴史文化資源を単に保存して守るだけではなく、個々の資源が持つ価値を引き出し、更なる文化振興や教育に資するとともに、「地域の宝」を認定し、地域の絆づくりに資する取組や、日本遺産制度の活用を始めとする観光活用など、まちづくりに活かして守るという視点を新たに打ち出した。

イ 活用を促す「エイト・ストーリー」と「保存活用区域」の設定

本市の歴史を紐解く8つのストーリーを設定し、学校や社会教育における郷土の理解や愛着を育む教材とするとともに、市民や観光客にわかりやすく本市の魅力を伝えるツールとするなど、様々な分野で歴史文化資源の活用を促していくことを目指した。

また、特に歴史文化資源が集中している7つのエリアを保存活用区域として設定し、行政、市民、事業者が共通認識を図り、歴史文化を活かしたまちづくりを進めていく上での拠り所とした。

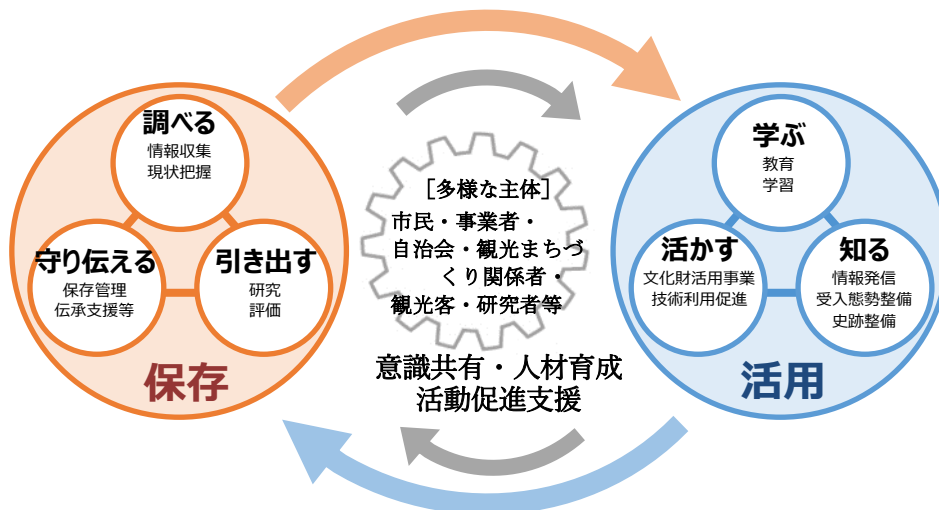


関連文化財群「うつのみやの歴史を紐解く8ストーリー」

ウ 多様な主体の参画を促す仕組みづくり

「保存活用のサイクルイメージ」を提示し、多様な主体がそれぞれの立場で歴史文化資源の保存や活用に関わり、相互の活動が好循環を生み出していく環境づくりを目指した。

既存の文化財指定制度等に加えて、市民共有の財産として価値ある資源を市民遺産として保存活用を図る新たな制度の創設を図るとともに、地域や企業、マスメディア等も含めた広がりのある市民組織を設置し、多様な主体が連携できる基盤づくりを目指した。



保存活用のサイクルイメージ

「宇都宮市歴史文化基本構想」 概要版

1 構想の基本的事項(第1章)

(1) 策定の目的

市内に所在する歴史文化資源を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて的確に把握し、その周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するための考え方や方針をまとめ、将来にわたり地域固有の歴史文化を守るとともに、これらを活かした人づくりやまちづくりの取組を進める上での指針とする。

(2) 構想の位置付け

「第2次宇都宮市文化振興基本計画」における「文化財保護」分野の上位計画として位置付けするとともに、「第6次宇都宮市総合計画」に掲げる「魅力創造・交流の未来都市」の実現に資する構想として、市民が本市の歴史や文化の理解を深め、郷土への誇りや愛着を醸成し、歴史文化資源の適切な保存と活用を推し進めていく基本となる方向性を示す。

(3) 構想の目標期間

平成29年度から平成48年度までの20か年の構想とし、大きな環境要因の変化などがあつた場合は、必要に応じて随時見直す。

(4) 歴史文化資源の定義

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成されてきたモノやコトで、市民共有の価値を有するもの



2 歴史文化資源の保存・活用に係る現状(第3・4章)

(1) 歴史文化資源の特徴

- ・約3,800件の資源を把握（指定文化財13%, 未指定87%）
- ・資源の種類は、空間資源（不動産）36%, 生活資源（動産）64%
- ・資源の分布は、全体の約1/5が市街地中心部に集中
- ・約9,000棟の大谷石建造物のうち約3割が築50年以上経過
- ・大谷石の石蔵は、過去10年間で約1割が滅失

(2) 文化財の指定・認定等制度

- ・指定文化財は486件。うち国指定・登録文化財は34件
- ・補助金等により指定・認定文化財の保存活動を支援
- ・指定制度は保護に重点が置かれ、自由な活用を制限
- ・希少性が価値基準となり、大谷石建造物など日常的な資源は指定の対象外

(3) 歴史文化資源の所有者

- ・指定文化財の所有者は、約9割が個人・民間（寺社・自治会等）
- ・指定建造物の修理に対する財政的な支援ニーズが高い。
- ・指定以外の歴史文化資源は、98%が個人や民間の所有
- ・所有者は維持管理費や高齢化による継承への不安がある。
- ・歴史文化資源を補修する際に取扱いの知識に不安がある。
- ・旧家の一部公開の取組がされているが、生活の場との両立が困難

(4) 市民活動

- ・指定文化財保存会・愛護会の52団体が保存活動を展開
- ・小中学生を巻き込んだ文化財の保存活動を実施
- ・文化財解説ボランティアが宇都宮城址公園を中心に文化財を活用した活動を展開
- ・伝統文化連絡協議会が伝統文化の講座やイベントなど、文化財を活用した活動を展開
- ・活動団体の高齢化が進み、組織の継続に苦慮する団体が増加
- ・まちづくり活動を通じた、歴史文化資源の保存・活用が地域ぐるみでなされている好事例あり。
- ・地域ビジョン策定や地域学講座を通じた、地域の歴史や資源の再認識や価値の評価、保存や活用の取組が展開されている好事例あり。
- ・市民団体が大谷石など特定資源の普及や活用の取組を展開

(5) 市民ワークショップ総括

- ・市内各地域に特色ある「地域の宝」が存在
- ・それぞれの地域に地域資源を支える活動が存在
- ・活動団体間の交流はなく、高齢化や継承者不足が顕在化
- ・誇りとする地域資源は指定文化財の他、未指定資源が多く混在
- ・歴史文化への興味・関心や知識量の世代間、地域間格差が拡大
- ・地域に貴重な資源や伝統行事が多く存在するが、外部に公開する取組は少ない現状にある。
- ・反面、地域資源の観光活用や地域外からの参加に対する寛容傾向が見られた。

(6) 周知啓発・情報発信

- ・文化財展示施設（うつのみや遺跡の広場・飛山城史跡公園・旧篠原家住宅・宇都宮城址公園ガイダンス・上河内民俗資料館）の利用者は年間約15万人。各施設で年間を通し、講座やイベントを実施
- ・地域の愛護団体等と連携した施設の管理運営を実施
- ・「宇都宮の歴史と文化財」HPアクセス数は年間約25万件
- ・メールマガジン登録者数約260人

国の動向

国は、これまで文化財の保存を重視してきたが、今後は保存と活用を両輪と捉え、その均衡を図りながら、観光振興や地域活性化への活用を念頭に、現在、文化財保護法の改正作業を進めている。

3 歴史文化資源の保存・活用に係る課題(第4章)

(1) 歴史文化資源とその価値の継続的な把握

- ・市内には、個人所有の歴史文化資源が多く、特に古文書や、写真等の今回把握した記録情報等の整理や継続的な資料調査が必要
- ・本市独自の都市空間をつくる重要な要素である大谷石建造物や建造物群について、価値や実態の把握と保存活用の検討が必要
- ・歴史文化資源単体の価値のみでなく、周辺環境を含めた地域の複合的価値を明らかにすることが必要

(2) 社会的・経済的環境変化を見据えた保存継承の仕組みの検討

- ・歴史文化資源を法制度等により守るのみでなく、活用することにより資源を守り、次の時代に継承する在り方を検討することが必要
- ・地域で大切に引き継がれてきた未指定の歴史文化資源の持続的な保存活用の確保が必要
- ・既存の文化財指定制度に収まらない地域の宝を評価する新たな価値基準が必要
- ・多様な歴史文化資源を適切に保存管理できる環境や制度の確保が必要

(3) 歴史文化に慣れ親しむ場や機会の増大

- ・本市の歴史文化資源を市民や観光客が、分かりやすく知り・学び・体験できる場や機会の創出が必要
- ・市民や観光客に、本市の歴史文化の魅力が伝わるよう、伝え方や情報発信の工夫が必要
- ・既存の歴史文化施設や関連文化財群を結び付けるなど、効果的に誘導を図る歴史文化の情報発信機能が必要

(4) 歴史文化の浸透と保存活用意識の醸成

- ・親しみやすく自ら語りたくなる本市の歴史や魅力の分かりやすいストーリーが必要
- ・歴史文化資源が地域の活性化や絆づくりに活用されるための具体的な取組やアイデアを生み出すインセンティブが必要

(5) 多様な主体による保存活用の活性化

- ・歴史文化資源の保存活用に取り組む団体・事業者の活動の活発化が必要
- ・新たな活動団体や事業者の育成支援・連携協力が必要
- ・地域に残されている伝統文化や歴史文化資源の継承が難しくなっており、これらを地域の中で守るための環境づくりが必要

4 歴史文化資源の保存・活用の方針(第5章)

基本理念

「みんなでつなぐ
歴史文化の息づく交流都市 宇都宮」

～郷土の歴史を理解し、誇りをもって
守り・活かし、みんなの力で未来につなごう！～

基本方針・取組の方向

1 歴史文化資源の価値を調べる、引き出す、守り伝える

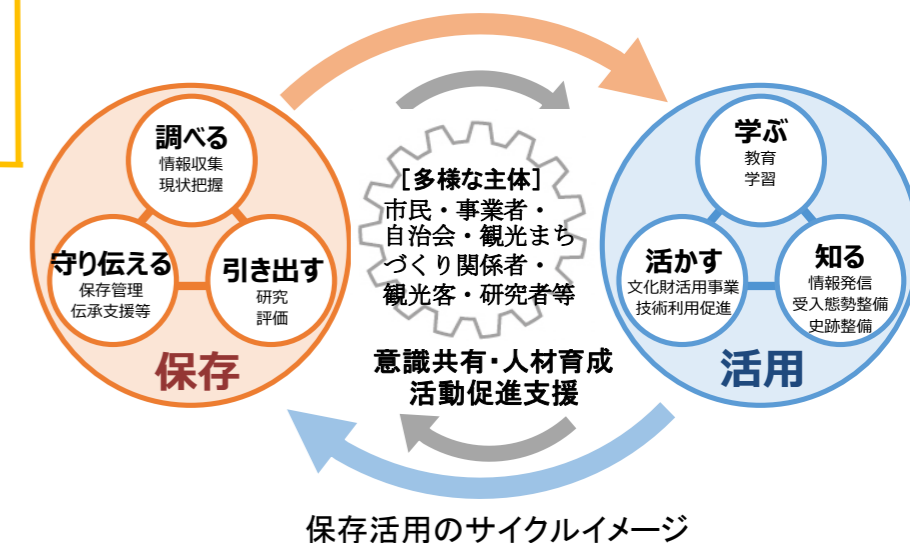
- ① 「調査・研究の充実」(価値の創出)
- ② 「文化財指定・認定・登録制度の適正な運用」
- ③ 「適切な保存基準の設定」
⇒専門性の向上、保存環境の充実
・「文化財調査研究体制」の整備、「文化財所有者支援」の充実など

2 歴史文化資源の魅力学ぶ、知る、地域振興に活かす

- ① 「学校教育・生涯学習と連携した学ぶ機会の拡大」
- ② 「歴史文化資源の公開促進及び魅力発信の強化」
- ③ 「地域振興等での活用の推進」
⇒歴史文化の理解促進、郷土の誇りや愛着の醸成
・「関連文化財群」の設定、「情報発信交流拠点機能」の整備など

3 保存活用の多様な主体の参画を促進する

- ① 「歴史文化に興味を持つきっかけづくりの推進」
- ② 「主体の育成及び活性化と人材の育成」
- ③ 「多様な主体に応じた多様な参画手法の提供」
- ④ 「地域の歴史文化の魅力を高める支援体制の構築」
⇒保存・活用のサイクルの好循環を生み出す仕組みづくり
・「歴史文化保存活用区域」の設定、「市民遺産制度」の創設など



5 関連文化財群の設定(第6章)

郷土の魅力的な歴史を分かりやすく
知るための基本情報

(1) 関連文化財群の定義

本市の歴史文化の特性を語る8つのテーマを設定し、テーマに関連する歴史文化資源を一つの「関連文化財群」として整理

～宇都宮の歴史を紐解く8ストーリー～

★ゼネラルストーリー(総論)

① 今も昔も住みやすい関東平野の里山都市 うつのみや

なぜ、うつのみやには、今も昔もたくさんの人が集まってくるの？

日本最大の面積を誇る関東平野の北端に位置するこの地は、都市の文化と多様な自然が入り交じり、豊かな自然の恵みを育むとともに、多様な文化が出会い新たな文化を生み出してきた。南北に流れる幾筋もの川に挟まれた安定した台地を生活の場とし、すでに3万年前には人が住み始め、古代・中世・近世へと時代が進むにつれ人々は集まり、更に近代に県庁が置かれ、より多くの人々が集住し、今日まで県の中核を担ってきた。現在約50万人の暮らす「中核市宇都宮」は、災害が少なく水資源に恵まれ、安心して暮らせるまちである。

★時代を貫くストーリー

② 文武に秀でた宇都宮氏の本拠地 うつのみや

百人一首ゆかりの宇都宮氏とは、どんな一族だったの？

宇都宮は宇都宮明神(二荒山神社)の門前町として始まり、その神社の社務職を兼ねこの地を治めていた宇都宮氏は、鎌倉幕府の要職を務めたほか、独自の和歌集を作るなど文武に秀でた武将であった。5代頼綱は藤原定家に京都の山荘の襖に貼る色紙和歌の選定を頼み、後の「百人一首」のもとになる。また、8代貞綱は蒙古襲来を迎え撃つ日本軍の総大将として九州に出陣し、9代公綱は「坂東一の弓矢とり」と謳われ、10代氏綱は2か国の守護職を務めたが、22代国綱の代に豊臣秀吉により改易された。その後、宇都宮氏の旧臣たちは土着し、地域の発展を支えた。また、宇都宮氏が種をまいた「百人一首」は現代に引き継がれ、多くの人々に愛されている。

③ 2つの街道の追分・水運の鬼怒川 人・物・情報の交流拠点 うつのみや

なぜ、うつのみやは多くの人が行き交うまちなの？

古代の「東山道」、中世の「奥大道」、近世の「日光道中・奥州道中」、近代以降は「国道4号線」が通るなど、常に中核部と東北を結ぶ主要幹線がとおる陸上交通の要衝の地である。また、近世になるといくつもの河岸がつくられ、下野諸藩や会津藩等の年貢米などを江戸に送るなど水上輸送の重要な役割を果たした。更に明治期には早くから鉄道が開通するなど、道や河川、鉄道を通じて、宇都宮はいつの時代にも人・物・情報が行き交い、新しい文化を受け入れ、常に変化しながら発展してきたまちである。

④ 古代から現在まで大谷石が作り繋いだ石のまち うつのみや

なぜ、このまちの人々は大谷石を使い続けているの？

大谷石はうつのみやの人々にとって古より身近に触れることができる存在であった。この地に住む人々は、その石質の特質を見抜き、住居のカマドや古墳の石室材として使っていた他、磨崖仏を彫り人々の安寧を願った。江戸時代以降、長年の採掘により掘り残された石切場と、自然の奇岩群との人工と自然が織りなす固有の景観が今に伝わる。近代では、フランクロイドライトが旧帝国ホテルの建材として使用するなど、加工がしやすく、耐火性に優れた石材であることから、高度成長期には、土木構築材などに使われ都市の形成を支えた。

日本遺産認定申請のテーマ

★時代の特色を表すストーリー

⑤ 古代国家を支えた下毛野氏基盤の地 うつのみや

なぜ、この地に古代河内郡の役所がつくられたの？

この地に古墳文化がもたらされて以来、多くの古墳が造られている。その中でも注目されるのが市内最大の笹塚古墳で、近くには豪族の居館跡が発見されている。二荒山神社の主祭神豊城入彦命の子孫奈良別君は仁徳天皇の時代(5世紀)に下毛野氏となったという伝承もある。笹塚古墳と何か関係があるのだろうか？そして、その子孫である下毛野古麻呂は、国の根幹である大宝律令の作成に携わっている。下毛野氏が基盤の一つとした河内郡の役所は、宇都宮と上三川の境に所在する上神主・茂原官衙遺跡である。

⑥ 徳川将軍も泊まった華やかな城下町 うつのみや

どうして宇都宮城に徳川将軍が泊まったの？

宇都宮城は、将軍が日光社参する際に泊まった城で、合計19回も将軍家等が宿泊している。この宿泊に絡んだ有名な話が「宇都宮釣り天井」である。本多正純が将軍を暗殺しようとしたとする講談は今日まで語り継がれている。また、宇都宮城は、伊達政宗など外様大名に対する押さえの城として代々譜代大名が入封する軍事・交通上の重要拠点であった。本多正純は、宇都宮城とその城下の整備を行い、町割りにも大改編を加え、近世の城下町としての基盤を整えた。現在の宇都宮は、この際整備された町割りがベースとなっている。

⑦ 二度の戦災をたくましく生き抜いたまち うつのみや

宇都宮が巻き込まれた二度の戦争ってなに？

一度目は、1868年に勃発した戊辰戦争で、宇都宮藩が新政府側につき、旧幕府軍と戦い町は戦火に包まれた。その後、1884年に県庁が栃木町より移転し、名実共に県の政治・経済の中心となる。日露戦争後には陸軍第14師団の宇都宮移駐が決定し、市内各所に軍の関連施設がつくられた。二度目は、太平洋戦争末期に、米軍機により宇都宮が空襲を受け、市街地の大半が焼失した。しかし、市民の強いエネルギーにより復興が進められた。黒こげになった旭町の大きいちやうが翠春芽吹き、復興のシンボルとして人々の心の支えとなった。ちなみに終戦後、第14師団の帰還兵が本場の餃子を持ち帰り、宇都宮餃子のルーツとなった。

⑧ 農村に生きた人々が築いた文化豊かな田園の地 うつのみや

どのようにして豊かな田園風景は育まれてきたの？

江戸時代の初め、宝木台地は、水はけの良い地質のため稲作に適さない土地だったが宝木用水が完成し、21万坪の水田が宝木台地に広がり、現在もこの用水は農業用として使われ続けている。また、宇都宮の田園地帯では、五穀豊穰や疫病退散等を願い、天祭や獅子舞等の伝統行事が行われてきた。これらの行事は、地域の人々の結びつきを強め、地域の一体感を生み出し、今日まで引き継がれている。

6 歴史文化保存活用区域の設定(第7章)

歴史や地域的に関連のあるエリアを
一体的に把握するための基本情報

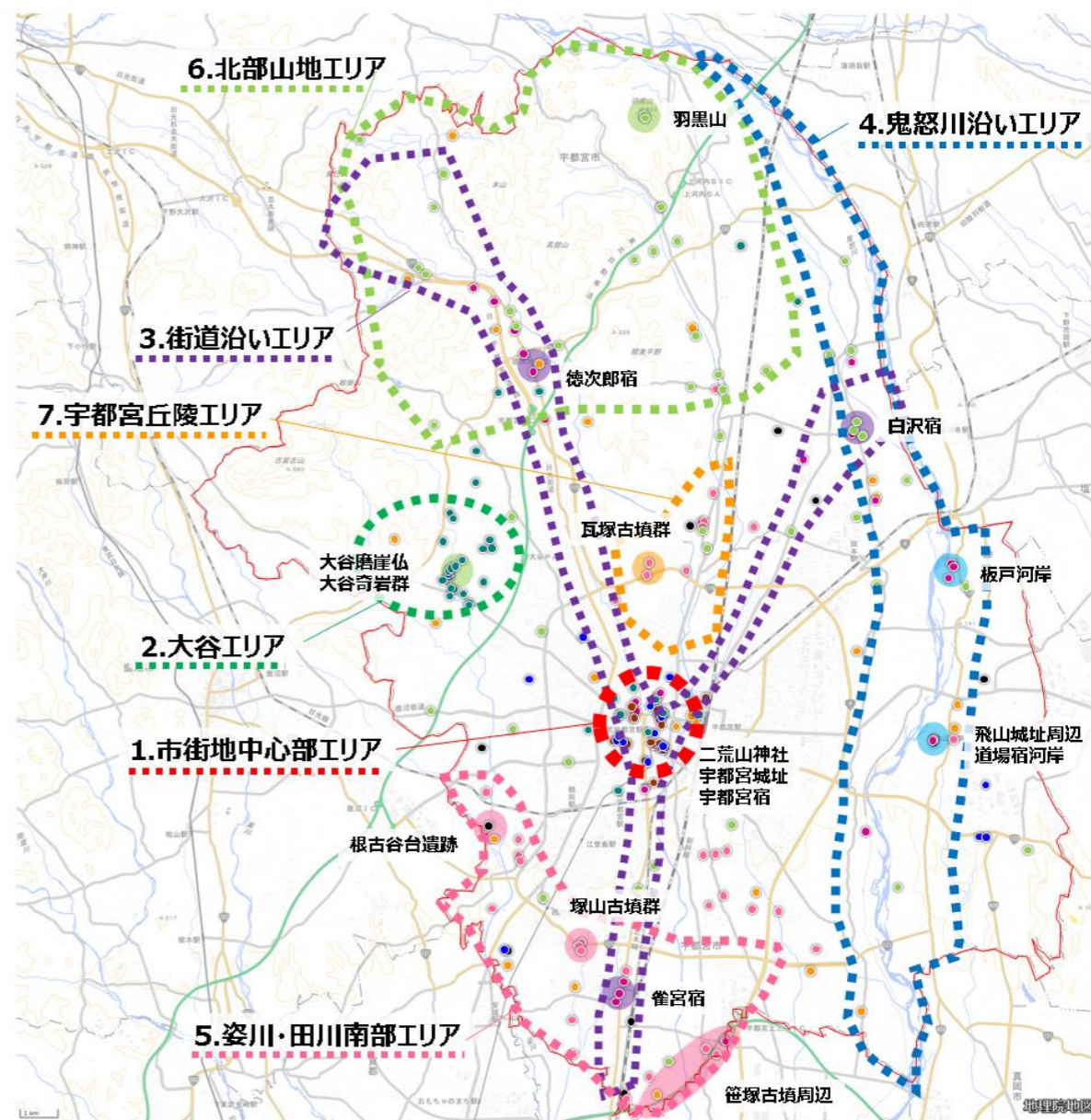
(1) 歴史文化保存活用区域とは

歴史文化資源化が特定地域に集中している場合に、歴史文化資源と一体となって価値を形成する周辺環境も含め、歴史文化資源(群)を核として文化的な空間を創り出すためのエリア

(2) 歴史文化保存活用区域

- 【1.市街地中心部エリア】市の中心部に位置する二荒山神社と宇都宮城を中心とするエリア
- 【2.大谷エリア】大谷石文化を語る上でその中心となる自然と人工的に造りだされたエリア
- 【3.街道沿いエリア】交通の要衝として栄えた町の名残を継承するエリア
- 【4.鬼怒川沿いエリア】近世の河岸が発達し、河川交通の要衝として栄えたエリア
- 【5.姿川・田川南部エリア】原始から古代にかけて全国的にも重要な史跡が分布するエリア
- 【6.北部山地エリア】羽黒山などを背景に、獅子舞や天祭などの伝統文化が今に残るエリア
- 【7.宇都宮丘陵エリア】宇都宮丘陵に展開する古墳や瓦窯跡などの多くの遺跡が残るエリア

歴史文化資源の分布と歴史文化保存活用区域



【エイト・ストーリー(関連文化財群)の活用】

- ・ 学校教育や社会教育における郷土の理解や愛着を育む教材
- ・ 市民や観光客を対象に、わかりやすく本市の魅力伝えるツール
- ・ 大谷石をテーマとした日本遺産認定を通じた観光振興や地域の活性化

【歴史文化保存活用区域の活用】

- ・ 都市計画や景観計画など行政計画の策定・推進における基礎資料
- ・ 歴史文化資源の集積状況や特色の共通理解を図ることによる、歴史文化を活かしたまちづくり
- ・ 歴史まちづくり法を活用した良好な市街地環境の向上などに向けた取組の基礎資料

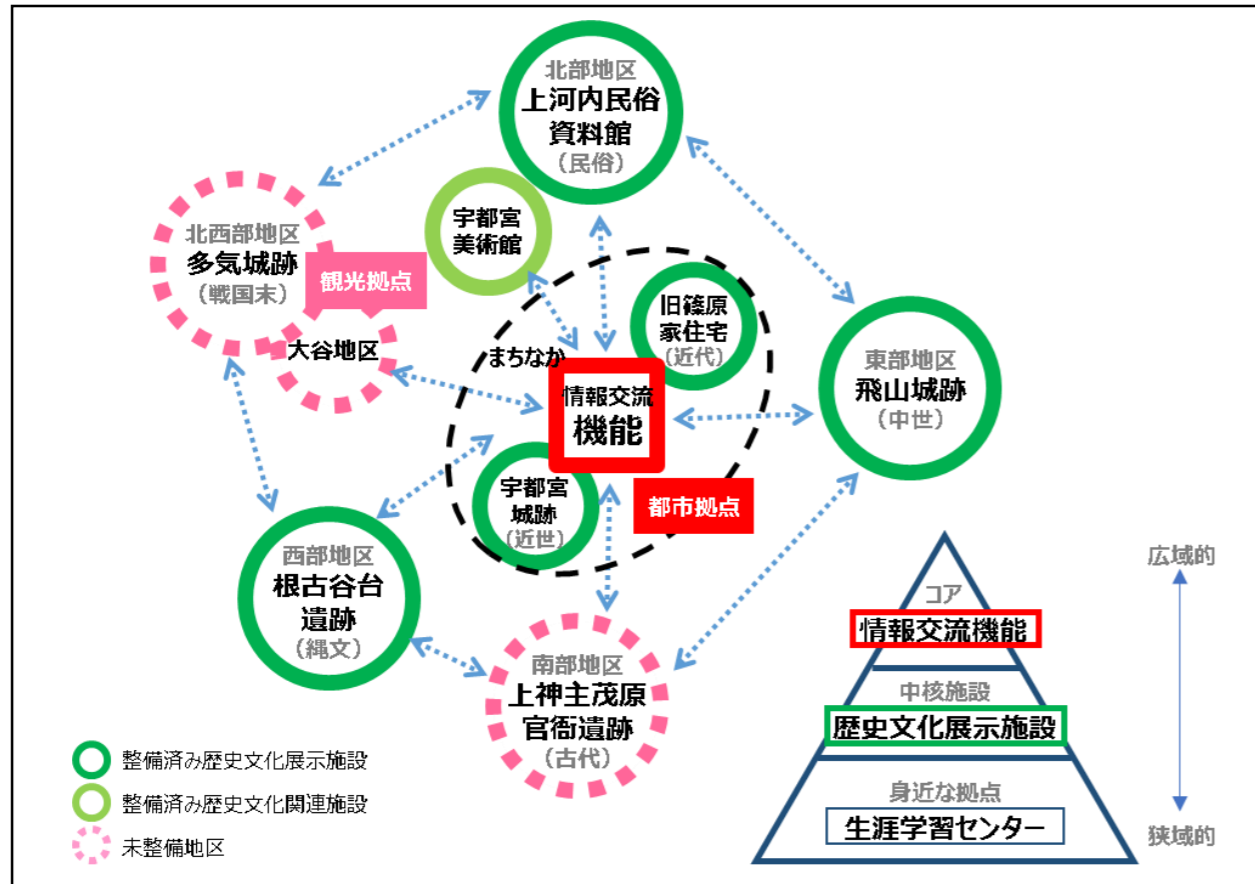
7 歴史文化資源の保存活用のための体制整備の方針(第8章)

(1) 効果的な市民意識の共有や人材育成の環境や仕組みづくり

市民が楽しく興味を持って本市の歴史や文化について知ることを促し、市民相互の情報交換や交流を生み出すとともに、お互いに意識を高め合い成長していくことができる環境や仕組みづくりに取り組む。

- ・ エイト・ストーリー（関連文化財群）を活用した情報発信や価値の共有
- ・ 大谷石をテーマとする関連文化財の日本遺産制度を活用した情報発信や価値の共有、ガイドの養成
- ・ 文化財展示施設の機能強化と合わせた生涯学習センターの機能強化による地域資源の価値付け、意識の共有
- ・ 本市の都市魅力を市民や観光客に分かりやすく伝え、都市の回遊を促す情報発信・交流機能の検討 など

各地区情報交流拠点の連携(まちは博物館)イメージ



【歴史文化の情報交流拠点に係る階層別機能の整理】

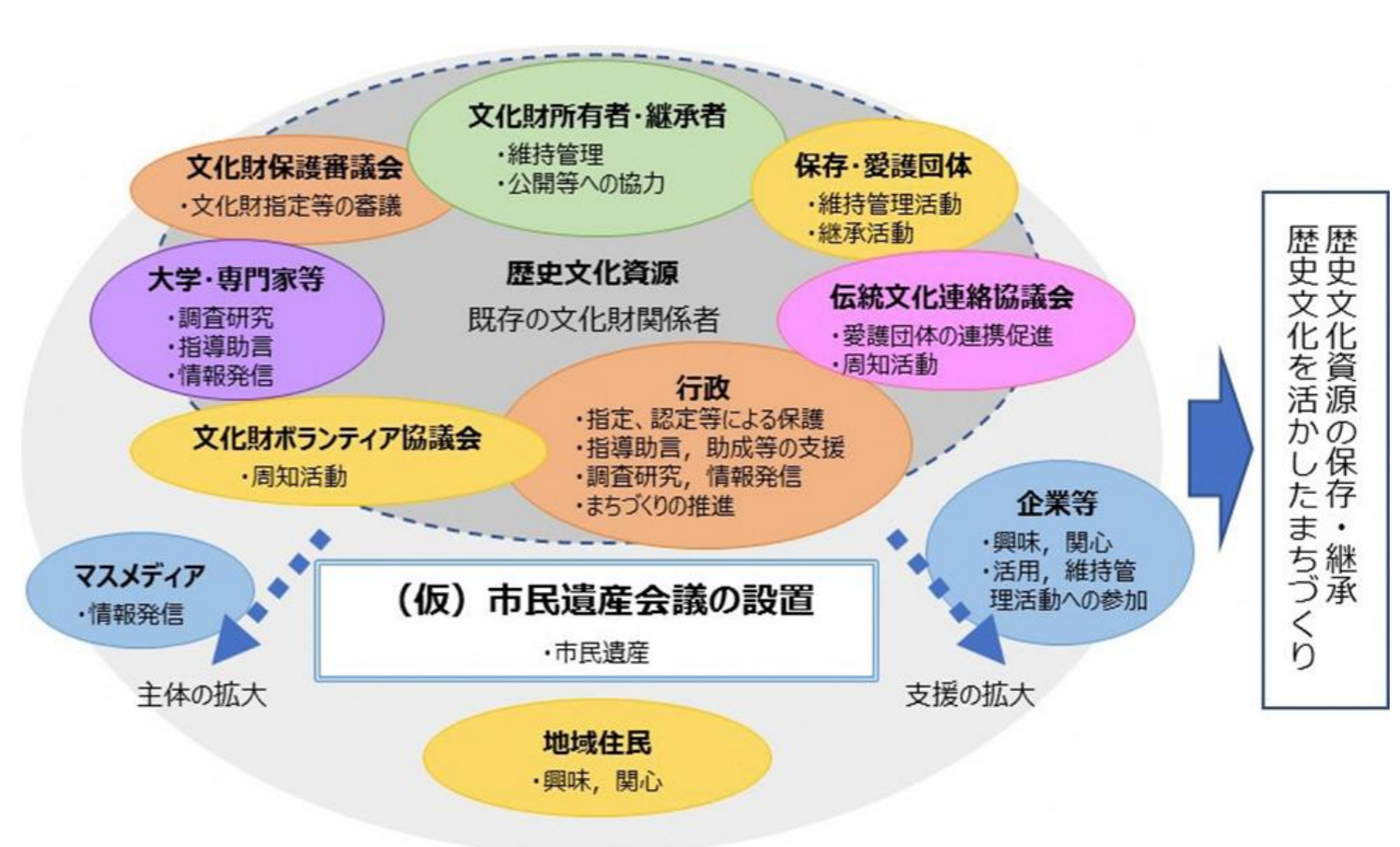
- **身近な生涯学習センター機能**
 - ・ 生涯学習センターによる地域学講座の開設や地域巡りなどの学習機能
 - ・ 地区内の資源の価値付け、愛護活動団体とまちづくり組織等との連携、協働機能
 - ・ 地域学講座や地域ビジョンの作成・周知等を通じた地区内の住民意識の向上、コミュニティ形成機能 など
- **地域中核施設としての展示案内機能**
 - ・ 当該遺跡や史跡、建造物等のガイダンス施設として解説、案内機能
 - ・ 当該地区住民、愛護団体等による保存活用活動の拠点としての交流機能
 - ・ 周辺地域の特徴的な資源の紹介や事業と連動したイベントなどの地域活性化機能 など
- **都市の魅力を高める情報発信・交流機能**
 - ・ エイト・ストーリーなど特色ある歴史文化の情報を発信し、市民や観光客の興味を喚起し本市の都市の魅力を伝える中核的機能として、各地域の歴史文化資源や展示施設への回遊を促す情報発信及び案内機能
 - ・ 伝統芸能や民話語りの披露や解説ガイドの紹介など、情報が集まり交流を促し人材育成を促す機能
 - ・ 本市の郷土食や伝統工芸、農産物、特色ある資源のプレゼンなど、観光物産情報の発信機能 など

(2) 保存や活用の活動を促進する環境や仕組みづくり

歴史文化資源の本質的な価値を新たに見出したり、活用に資する潜在能力を新たな視点から見いだすなど、多様な主体が関わることでその可能性が広がることから、その基盤となるネットワークの形成に取り組む。

- ・ 「歴史文化保存活用区域」を景観計画などに活用した歴史文化を活かしたまちづくりの推進
- ・ 高等教育機関や研究機関等との連携による歴史文化資源の特性や価値の創造
- ・ 歴史文化資源の保存活用を効果的に進めるための制度の見直しや運用の工夫
- ・ 地域住民が大切にしたい資源を市民共有の財産としてその保存活用を支援する「市民遺産制度」の創設
- ・ 多様な主体が歴史文化資源の保存活用のサイクルに関わり、互いに生かし合う基盤の構築 など

(仮称)宇都宮市民遺産制度及び多様な主体の連携イメージ



【(仮称)宇都宮市民遺産制度の考え方】

指定・未指定にかかわらず、地域の人々が大切に思い地域のコミュニティ形成に資する「地域の宝」である歴史文化資源を、市民各層の代表者により構成する市民組織において評価し、市民共有の財産として保存活用活動を支援する。「地域の宝」とは、新たな価値基準により、本市全体又は各地域の歴史や生活文化の特色を表し、市民共有の財産として引き継ぐべきものなどとし、当該資源とそれを支える保存活用の取組と併せて認定することで、市民活動の一層の活性化と地域や社会全体で歴史文化資源を支える機運を高めるものとする。

【多様な主体が連携する基盤整備の考え方】

市民遺産を評価する市民組織は、審査だけに止まることなく、歴史文化資源の保存活用を担う官民連携の組織として、意識の共有や周知活動を展開するとともに、歴史文化資源を活用した地域振興の提案や資金募集なども視野に入れ、社会全体で支える仕組みづくりを目指す。

8 今後の取組に向けて(第9章)

本構想の策定に当たり、3,863件に上る歴史文化資源のデータ収集を行い、その特色や分布状況を把握し、資源の持つ価値の発見や共有するためのツール作成に着手できた。

今後、本構想が歴史文化資源の保存と活用による、まちづくりの指針として活用されるよう取組を進める。

【本市の特色を市民共有の財産に】

本市の歴史の魅力や特性、地域的な分布等を分かりやすく理解するツールとして、「宇都宮の歴史を紐解くエイト・ストーリー」や「歴史文化保存活用区域」の設定を行った。今後、これらを活用し、意識の共有とともに、歴史的風致維持向上や景観計画などの整合性を図りながら、更なる検証を進めていく。

【具体的な事業化に向けて】

施策の事業化に向けては、本構想の方針に基づき、幅広い市民各層による推進基盤を構築するとともに、関係部局との連携の下、実現を図る。今後、総合計画実施計画や文化振興基本計画と連動して施策の具体化・実現を図るとともに、個々の貴重な歴史文化資源の計画的な保存活用の担い手の拡充に当たっての考え方や取組を検討する。

【構想の見直し】

今後の歴史文化資源の収集調査や分析における新たな歴史文化の特性や新資料の発見、又は、法制度の変更や社会状況の変化などにより、長期的な視点からの見直しが必要となった場合、随時改訂を行うこととする。